

# 市外転出者に対するアンケート調査 集計結果

平成 27 年 11 月

逗 子 市

## <目 次>

I	調査概要	
1.	調査目的	1
2.	調査項目	1
3.	調査の設計	1
4.	回収結果	1
5.	集計結果について	2
II	調査結果	
1.	【回答者】のプロフィールについて	3
2.	転出の状況について	13
III	まとめと考察	
1.	転出の特徴	33
2.	逗子市の課題	33
3.	逗子市のアドバンテージ	33
IV	参考資料	
1.	アンケート調査票	35
2.	自由記述欄（「その他」）の回答	39

## I 調査概要

### 1. 調査目的

まち・ひと・しごと創生総合戦略及びシティプロモーション戦略を検討するにあたり、本市の課題等を把握するため、市外に転出した市民の意識調査を実施するもの。

### 2. 調査項目

詳細は「IV 参考資料」参照（アンケート用紙）

- ◆ 転出者のプロフィール（性別、年齢、ライフステージ、職業、勤務地、市立小・中学校の卒業状況、市内での居住地域、市内居住開始年等）
- ◆ 転出した時期
- ◆ 転出先
- ◆ 転出時の世帯状況
- ◆ 転出のきっかけとなった理由
- ◆ 逗子市での居住継続意向
- ◆ 逗子市から転出したい理由
- ◆ 転出後に「逗子はよかった」と感じた事柄
- ◆ 逗子市に戻る意向 など

### 3. 調査の設計

項目	内容
母集団	逗子市住民基本台帳データ
抽出対象	平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日に市外に転出した 18 歳以上の者（同一世帯で複数転出している場合は、世帯主以外の者を除く）
標本数	1,400 件
調査方法	郵送配付 — 郵送回収 * 郵送配付して、一定期間が経過した後、郵便により全標本に対して催告を行った。
調査期間	平成 27 年 8 月 7 日～24 日 * 平成 27 年 9 月 8 日到着分まで集計に含めた。

### 4. 回収結果

- ◆ 有効発送数：1,374 件（宛先不明等により不到達 26 件）
- ◆ 有効回答数（回答率）：475 件（34.6%）

## I 調査概要

### 5. 集計結果について

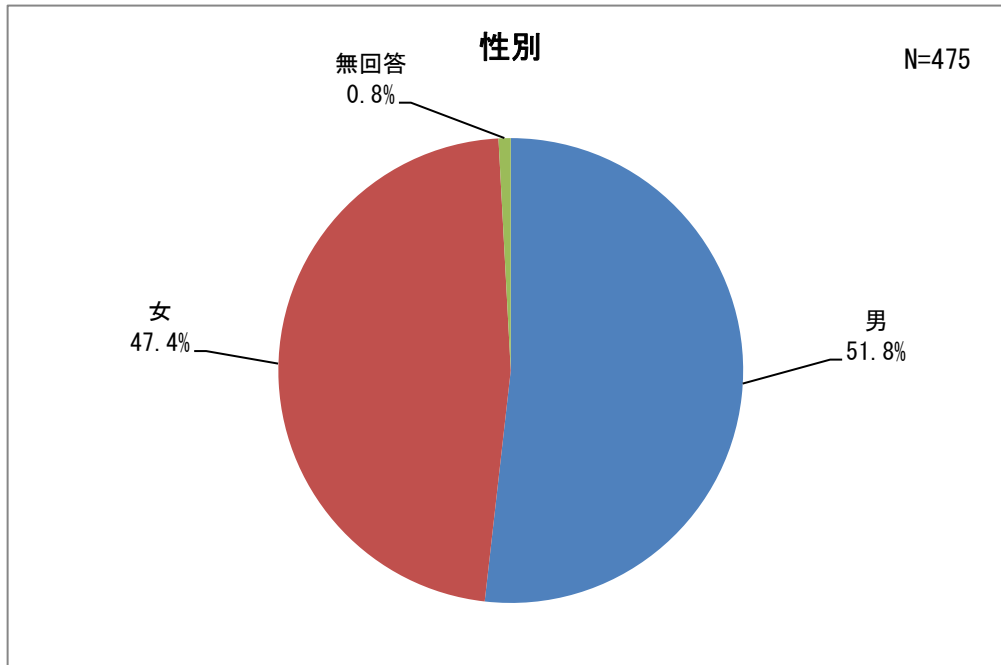
- ◆ 本アンケート調査の回答者を【回答者】と表記している。
- ◆ 図中の「N」は、その設問の回答者数を表している。
- ◆ 複数回答のものは、(MA)と表記している。
- ◆ 集計は、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、回答率を合計しても必ずしも100%とはならない。
- ◆ 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- ◆ 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によって語句を簡略化している。
- ◆ 集計は、単純集計のほか、適宜年齢等の属性によるクロス集計を行っている。また、分析の必要に応じて、設問間のクロス集計を行っている。
- ◆ 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。なお、無回答には無効も含むものとする。
- ◆ 属性別の分析については、全体平均と比べ、特徴的な傾向のあるものを中心にふれている。なお、母数が小さいため比率が拡大されている場合については、分析結果では基本的にふれないものとした。
- ◆ 分析の上で、平成23年度に実施した「まちづくり市民意識調査」の結果と適宜比較を行う際に「まちづくり市民意識調査」の結果を【まちづくり市民意識調査】と表記している。

II 調査結果

1. 【回答者】のプロフィールについて

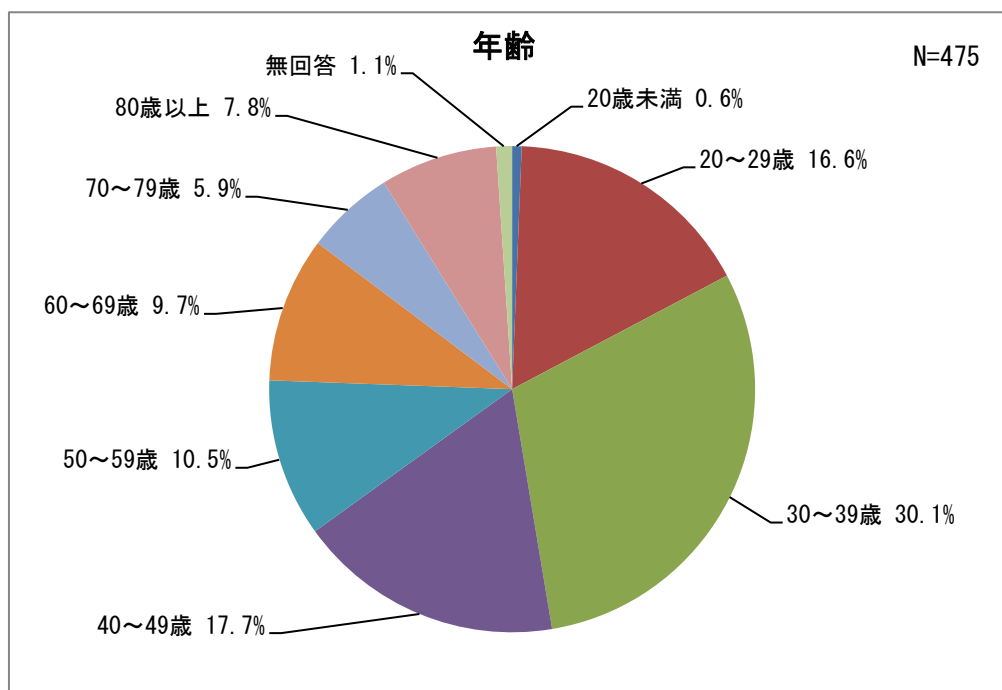
(1) 性別

- ◆ 男女の割合は、ほぼ同程度となっている。



(2) 年齢

- ◆ 年齢では「30～39歳」が30.1%と最も多く、次に「40～49歳」が17.7%、「20～29歳」が16.6%と続き、49歳までで全体の65%を占めている。



## Ⅱ 調査結果

- ◆ 【回答者】の性別・年齢別構成をみると、次のとおりとなっている。

### < 【回答者】の性別・年齢別構成の状況 >

	男性	女性	無回答	合計
20歳未満	0.2%	0.4%	0.0%	0.6%
20～29歳	7.4%	9.3%	0.0%	16.6%
30～39歳	15.2%	14.9%	0.0%	30.1%
40～49歳	10.7%	6.7%	0.2%	17.7%
50～59歳	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%
60～69歳	6.5%	3.2%	0.0%	9.7%
70～79歳	2.7%	3.2%	0.0%	5.9%
80歳以上	3.8%	4.0%	0.0%	7.8%
無回答	0.0%	0.4%	0.6%	1.1%
合計	51.8%	47.4%	0.8%	100.0%

### (3) ライフステージ

- ◆ 「独身」が31.8%で最も多く、全体の3割以上を占めている。
- ◆ 次に「既婚で子どもがいない(本人18歳から39歳)」が15.2%、「一番上の子どもが入学前」が12.8%、「本人65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業」が12.4%と続いている。

N=475

ライフステージ	割合
独身	31.8%
既婚で子どもがいない(本人18歳から39歳)	15.2%
既婚で子どもがいない(本人40歳から64歳)	6.5%
既婚で子どもがいない(本人65歳以上)	2.1%
一番上の子どもが入学前	12.8%
一番上の子どもが小・中学生	5.3%
一番上の子どもが高校生・大学生	5.1%
本人64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業	5.3%
本人65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業	12.4%
無回答	3.6%
合計	100.0%

- ◆ ライフステージを「まちづくり市民意識調査」と比較すると、【回答者】は【まちづくり市民意識調査】に比べて「独身」と「既婚で子どもがない（本人 18 歳から 39 歳）」が 10 ポイント以上多く、一方で「本人 65 歳以上で、一番上の子どもが学校卒業」の割合が少なくなっている。

＜ライフステージ／「まちづくり市民意識調査」との比較＞

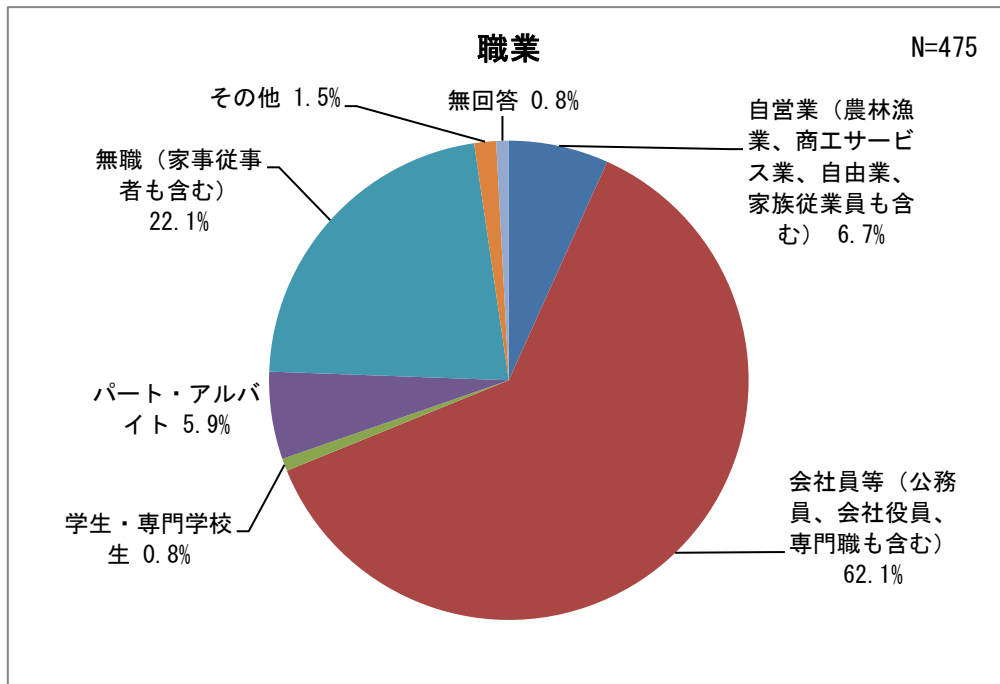
ライフステージ	【回答者】	【まちづくり市民意識調査】
独身	31.8%	20.9%
既婚で子どもがない(本人 18 歳から 39 歳)	15.2%	2.8%
既婚で子どもがない(本人 40 歳から 64 歳)	6.5%	6.0%
既婚で子どもがない(本人 65 歳以上)	2.1%	6.7%
一番上の子どもが入学前	12.8%	6.3%
一番上の子どもが小・中学生	5.3%	9.3%
一番上の子どもが高校生・大学生	5.1%	6.3%
本人 64 歳以下で、一番上の子どもが学校卒業	5.3%	15.0%
本人 65 歳以上で、一番上の子どもが学校卒業	12.4%	22.4%
無回答	3.6%	4.3%
合計	100.0%	100.0%

(注) 10 ポイント以上差のあるものに着色

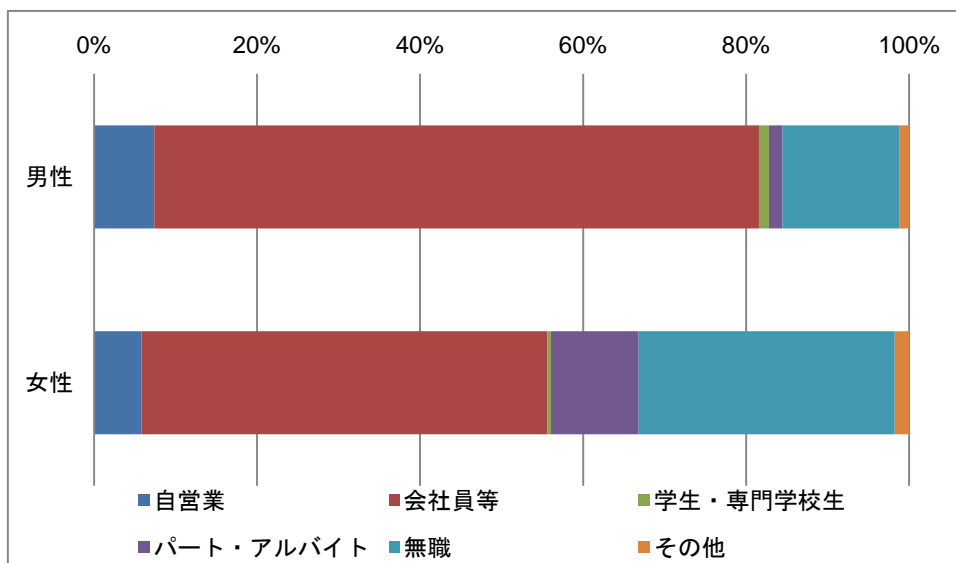
## Ⅱ 調査結果

### (4) 職業

- ◆ 職業では「会社員等（公務員、会社役員、専門職も含む）」が62.1%で最も多くを占めている。次に多いのは「無職（家事従事者も含む）」で22.1%となっている。
- ◆ 職業を性別にみると、「パート・アルバイト」、「無職（家事従事者も含む）」で女性が多くなっている。



### <性別・職業>

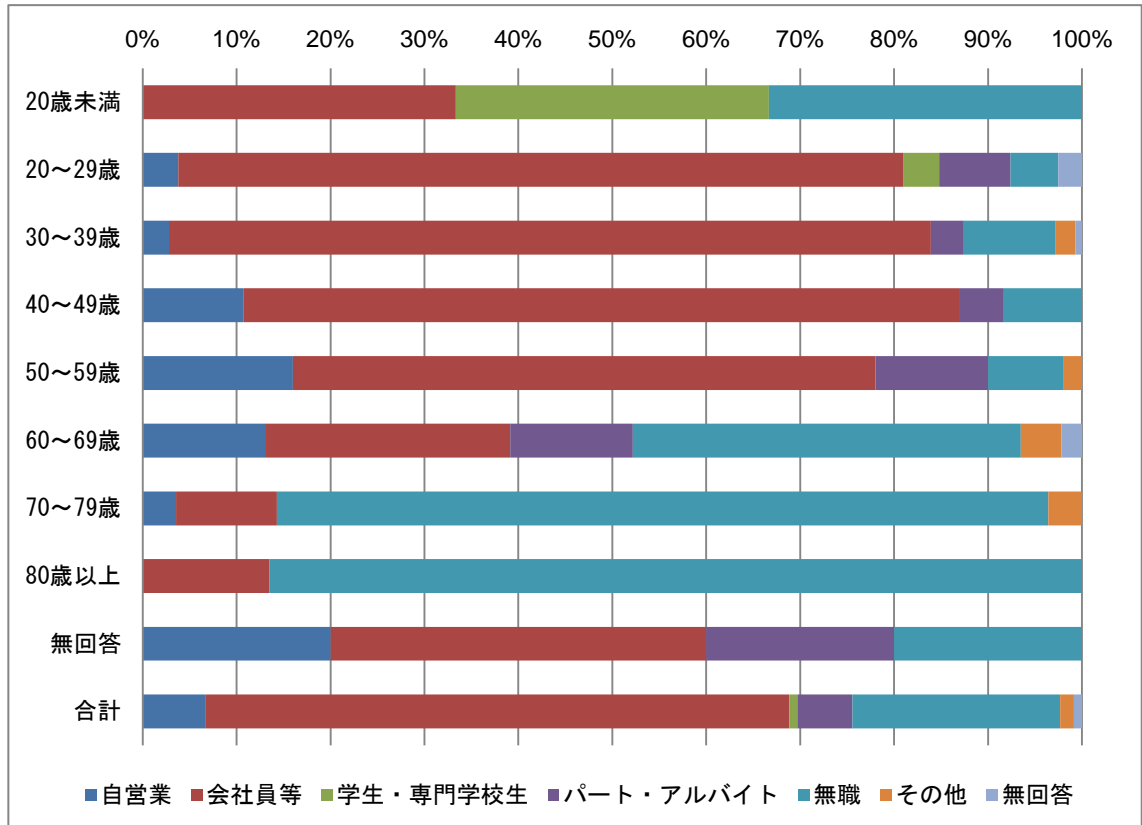


(注) 年齢無回答の4件を除く。



- ◆ 職業を年齢別にみると、「20歳未満」で「学生・専門学校生」が多いが、20～59歳では「会社員等」が中心となっている。

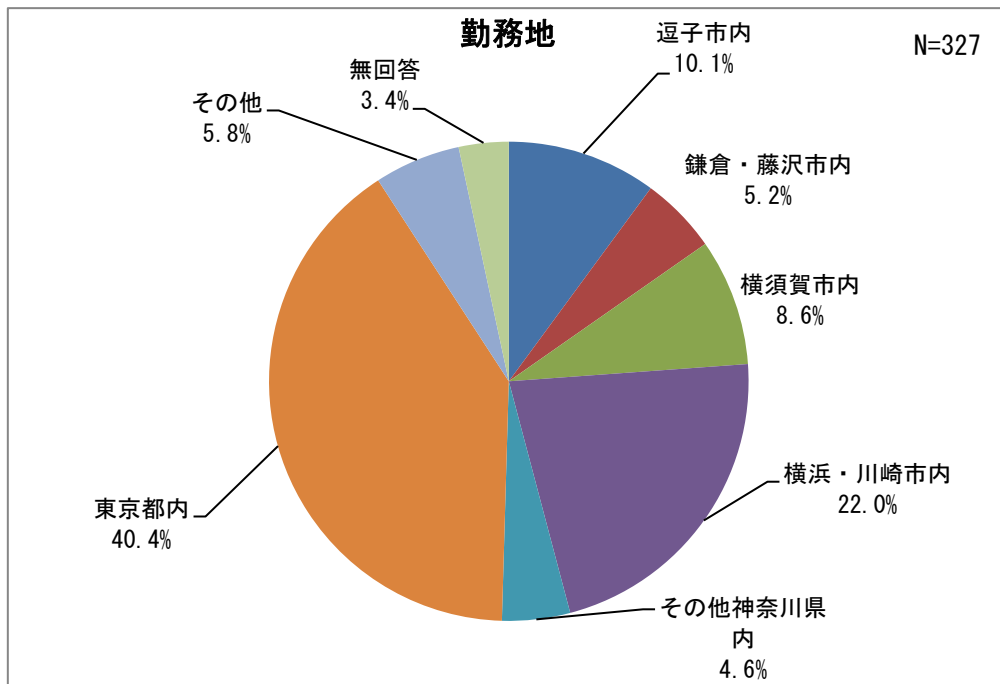
＜年齢別・職業＞



## II 調査結果

### (5) 勤務地

- ◆ 職業が「自営業」、「会社員等」の人に対して勤務地を質問したところ、「東京都内」が40.4%と最も多く、次に多いのは「横浜・川崎市内」で22.0%となっている。
- ◆ 勤務地を「まちづくり市民意識調査」と比較すると、【回答者】の勤務地では「東京都内」が多く、一方で「逗子市内」を勤務地としている人が少なくなっている。



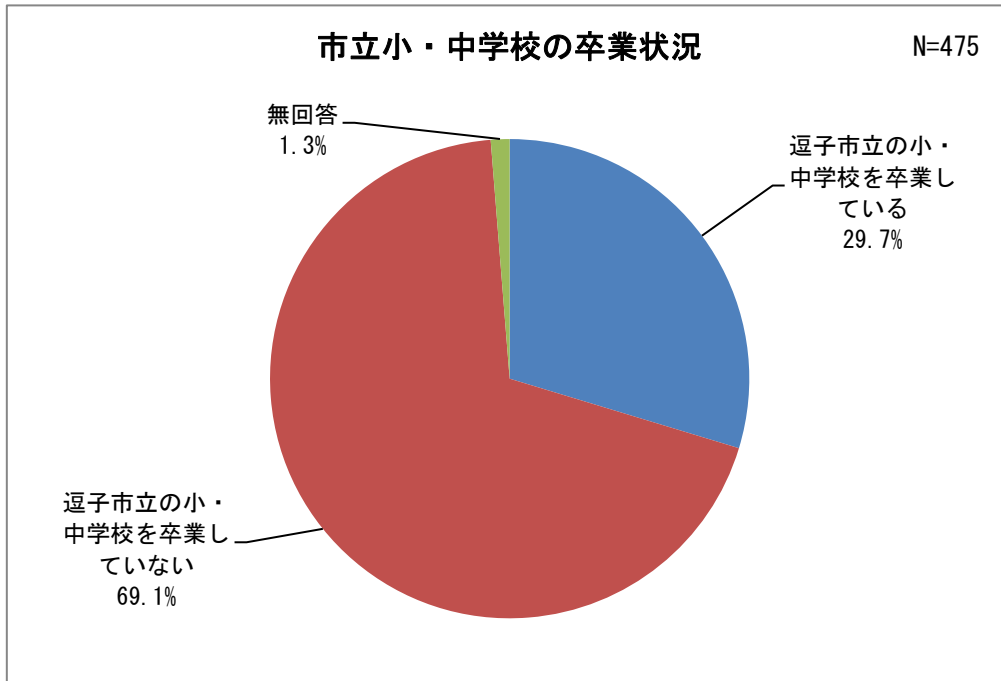
### <勤務地／「まちづくり市民意識調査」との比較>

勤務地	【回答者】	【まちづくり市民意識調査】
逗子市内	10.1%	24.8%
鎌倉・藤沢市内	5.2%	8.7%
横須賀市内	8.6%	8.5%
横浜・川崎市内	22.0%	23.9%
その他神奈川県内	4.6%	5.3%
東京都内	40.4%	24.9%
その他	5.8%	0.9%
無回答	3.4%	2.9%

(注) 10ポイント以上差のあるものに着色

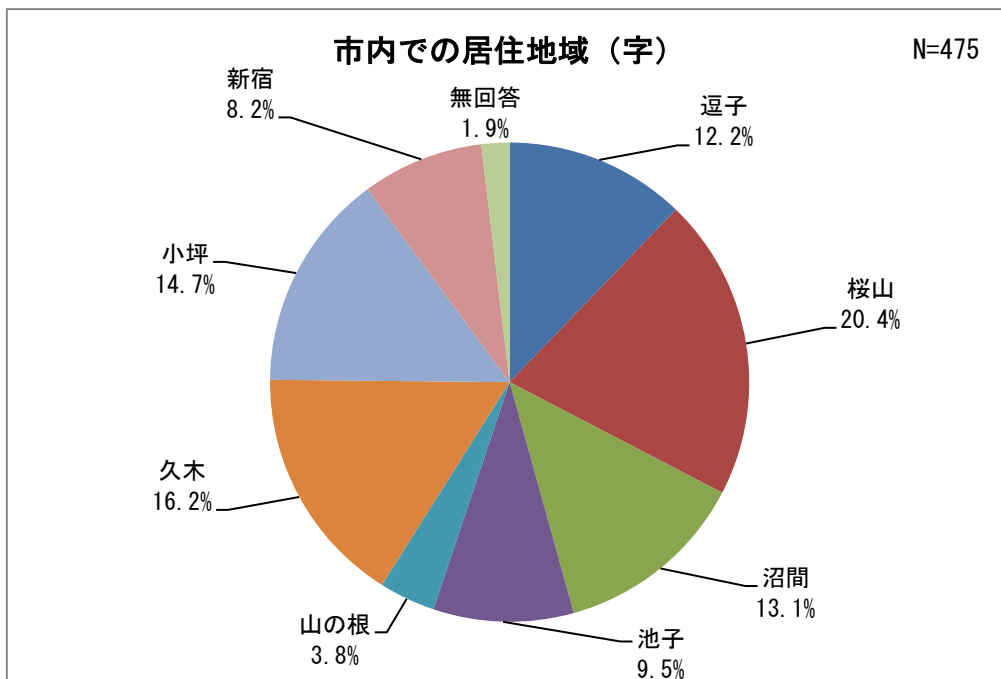
(6) 市立小・中学校の卒業状況

- ◆ 市立小・中学校の卒業状況については「逗子市立の小・中学校を卒業している」人が29.7%で、【回答者】の約3割が“逗子市育ち”となっている。



(7) 市内での居住地

- ◆ 【回答者】がもともと住んでいた地域としては「桜山」が20.4%で一番多く、次に「久木」が16.2%、「小坪」が14.7%と続いている。



## Ⅱ 調査結果

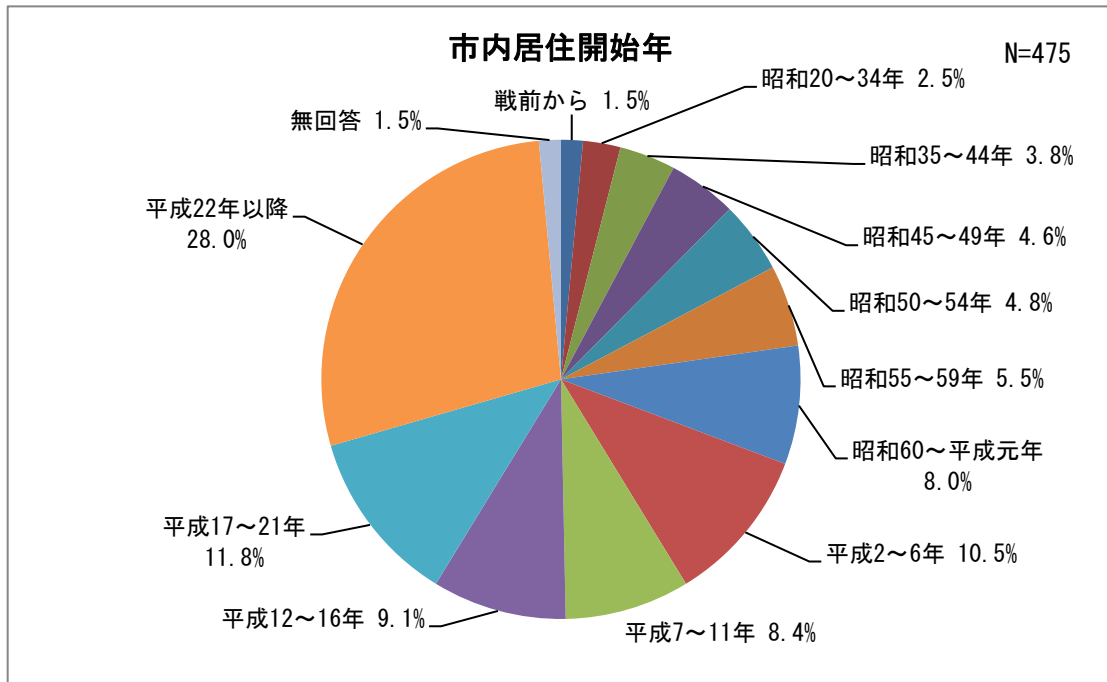
- ◆ 市内での居住地域を「まちづくり市民意識調査」と比較すると、【回答者】がもともと住んでいた地域の傾向は、【まちづくり市民意識調査】とほぼ同一となっている。

### <居住地域／「まちづくり市民意識調査」との比較>

居住地域	【回答者】	【まちづくり市民意識調査】
逗子	12.2%	11.0%
桜山	20.4%	17.3%
沼間	13.1%	16.4%
池子	9.5%	10.5%
山の根	3.8%	4.4%
久木	16.2%	15.1%
小坪	14.7%	14.3%
新宿	8.2%	7.9%
無回答	1.9%	3.1%

(8) 市内居住開始年

- ◆ 市内での居住開始年では「平成 22 年以降」が 28.0%と突出して多くなっている。
- ◆ これを「まちづくり市民意識調査」と比較すると、より顕著であることから、【回答者】は比較的、市内居住年数が短い層だということが分かる。



<市内居住開始年／「まちづくり市民意識調査」との比較>

居住開始年	【回答者】	【まちづくり市民意識調査】
戦前から	1.5%	4.2%
昭和 20～34 年	2.5%	5.8%
昭和 35～44 年	3.8%	8.6%
昭和 45～49 年	4.6%	8.7%
昭和 50～54 年	4.8%	8.0%
昭和 55～59 年	5.5%	5.8%
昭和 60～平成元年	8.0%	5.6%
平成 2～6 年	10.5%	7.1%
平成 7～11 年	8.4%	10.9%
平成 12～16 年	9.1%	11.5%
平成 17～21 年	11.8%	13.6%
平成 22 年以降	28.0%	7.0%
無回答	1.5%	3.1%

(注) 10 ポイント以上差のあるものに着色

## Ⅱ 調査結果

- ◆ 【回答者】の居住開始年の年齢別構成をみると、最も多い層は「平成 22 年以降」に居住を開始した「30～39 歳」（12.0%）であり、次に「40～49 歳」（6.3%）が続いている。このことから居住年数が 5 年以内の短い 30 歳、40 歳代の層の転出が 2 割程度占めていることが分かる。
- ◆ その次に多いのは「平成 2～6 年」に居住を開始した「20～29 歳」となっており、生まれたときから居住していた層の転出を表している。

### <市内居住開始年の年齢別構成>

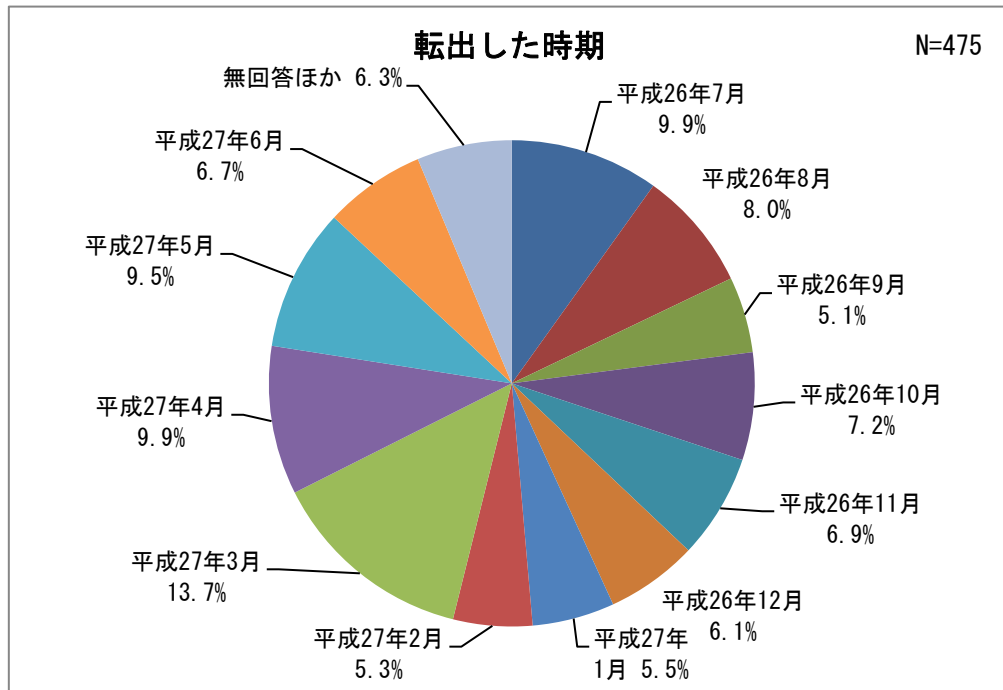
年齢	戦前から	昭和 20～34 年	昭和 35～44 年	昭和 45～49 年	昭和 50～54 年	昭和 55～59 年	昭和 60～平成元年	平成 2～6 年	平成 7～11 年	平成 12～16 年	平成 17～21 年	平成 22 年以降	無回答	合計
20 歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%	0.2%	-	0.2%	-	0.6%
20～29 歳	-	-	-	-	-	-	4.0%	5.3%	1.7%	1.3%	1.5%	2.9%	-	16.6%
30～39 歳	-	-	-	-	2.5%	4.4%	1.3%	1.7%	1.9%	1.7%	4.4%	12.0%	0.2%	30.1%
40～49 歳	-	-	1.3%	1.9%	0.2%	0.2%	0.2%	0.6%	1.1%	1.7%	3.8%	6.3%	0.4%	17.7%
50～59 歳	-	-	1.5%	0.2%	0.4%	-	0.4%	0.6%	1.5%	1.5%	1.3%	3.2%	-	10.5%
60～69 歳	-	1.1%	-	0.8%	1.1%	0.2%	0.4%	1.3%	0.6%	1.1%	0.6%	2.3%	0.2%	9.7%
70～79 歳	0.4%	0.2%	0.2%	0.8%	0.4%	0.4%	0.4%	0.6%	0.8%	0.8%	-	0.4%	0.2%	5.9%
80 歳以上	1.1%	1.3%	0.8%	0.8%	0.2%	0.2%	0.6%	0.2%	0.4%	0.8%	0.2%	0.6%	0.4%	7.8%
無回答	-	-	-	-	-	-	0.6%	0.2%	0.2%	-	-	-	-	1.1%
合計	1.5%	2.5%	3.8%	4.6%	4.8%	5.5%	8.0%	10.5%	8.4%	9.1%	11.8%	28.0%	1.5%	100.0%

(注) ここでは見やすくするため、0%を「-」で表記している。

2. 転出の状況について

(1) 転出した時期

- ◆ アンケート調査の対象者は、住民基本台帳データより平成26年7月から1年間の市外転出者を抽出しているが、月ごとの転出者の割合は3月を除き5~9%となっており、3月だけが13.7%と突出して多くなっている。



(2) 転出先

- ◆ 逗子市から転出した直後の転出先の都道府県としては「神奈川県」が一番多く半数以上を占めている。次に「東京都」が20%程度となっているが、それ以外はまとまった転出先にはなっていない。

< 5人以上転出した都道府県ランキング >

N=475

	都道府県	転出者数(人)	(%)
1位	神奈川県	242	50.9
2位	東京都	100	21.1
3位	千葉県	19	4.0
4位	埼玉県	11	2.3
5位	宮城県	6	1.3
	大阪府	6	1.3
6位	栃木県	5	1.1
	愛知県	5	1.1
	兵庫県	5	1.1
	広島県	5	1.1

## II 調査結果

- ◆ 転出先を市町村別にみると、「横浜市」が一番多く、全体の2割程度を占めており、そのうちでも「戸塚区」や「金沢区」への転出が多くなっている。
- ◆ 次に「横須賀市」、「鎌倉市」、「葉山町」といった逗子市に隣接する市町への転出が多くなっている。
- ◆ 県内自治体の次に、5人以上転出した市区町村としては「大田区」や「杉並区」など東京都の区部が続いている。

### <5人以上転出した市区町村ランキング>

N=475

	市区町村	転出者数(人)	(%)
1位	横浜市	93	19.6
2位	横須賀市	32	6.7
	鎌倉市	32	6.7
4位	葉山町	30	6.3
5位	藤沢市	17	3.6
6位	川崎市	12	2.5
7位	大田区	11	2.3
8位	杉並区	9	1.9
9位	港区	8	1.7
10位	世田谷区	7	1.5
	茅ヶ崎市	7	1.5
12位	江東区	6	1.3
	品川区	6	1.3
14位	渋谷区	5	1.1
	仙台市	5	1.1

### <5人以上転出した区部ランキング>

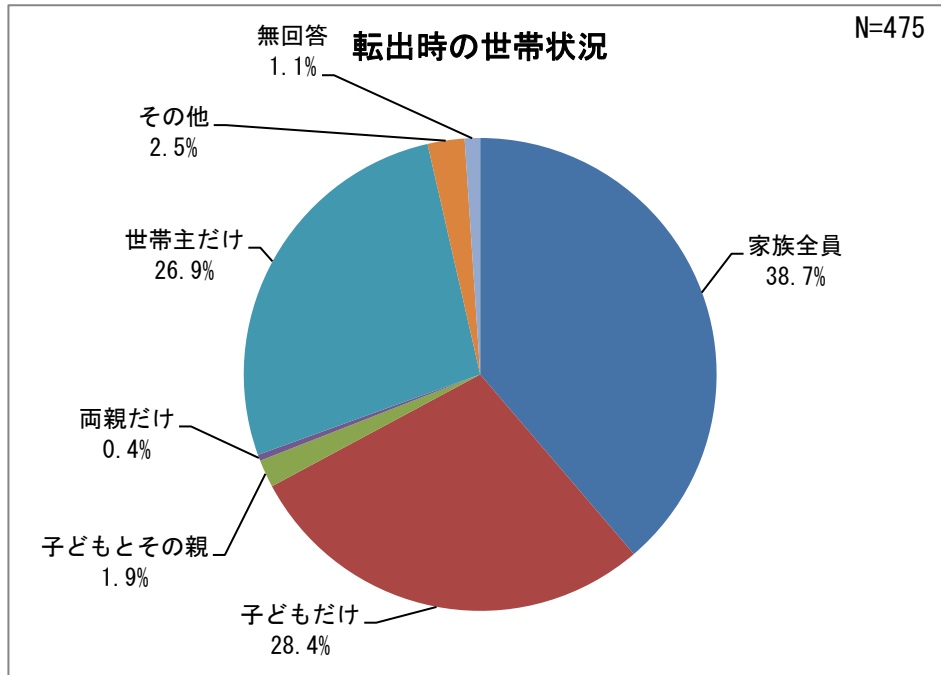
N=138

	横浜市区部	転出者数(人)	(%)
1位	戸塚区	13	9.4
2位	金沢区	12	8.7
3位	栄区	9	6.5
4位	港北区	8	5.8
5位	神奈川区	6	4.3
6位	西区	5	3.6
	中区	5	3.6
	磯子区	5	3.6
	港南区	5	3.6

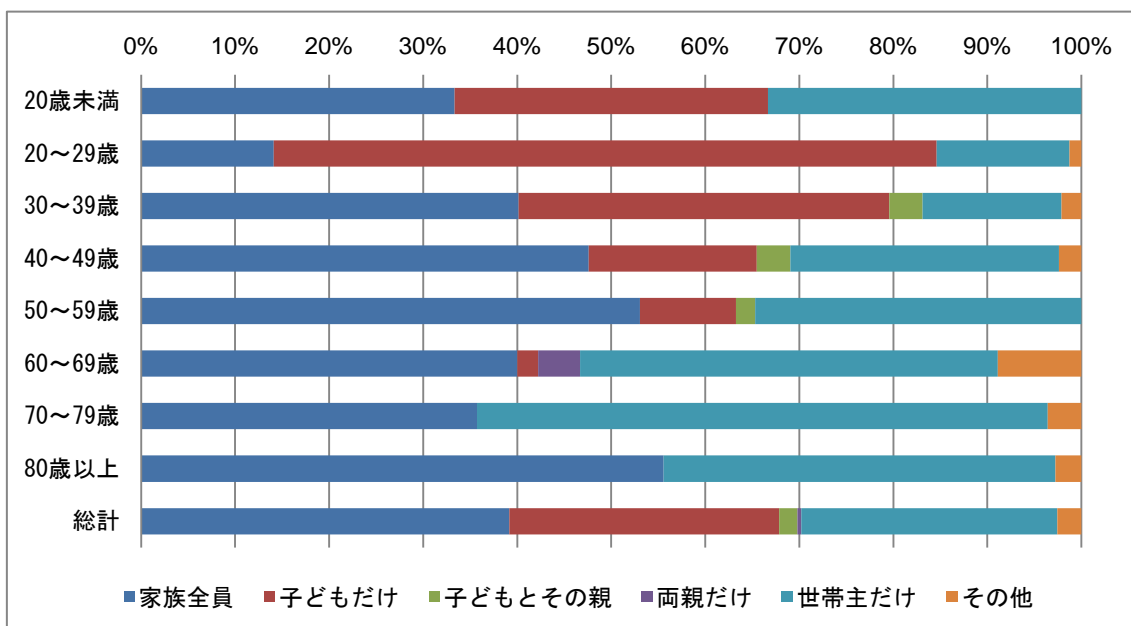


(3) 転出時の世帯状況

- ◆ 転出時の世帯状況としては「家族全員」が 38.7%で最も多く、次に「子どもだけ」が 28.4%、「世帯主だけ」が 26.9%となっている。
- ◆ 転出時の世帯状況を年齢別にみると、「20～29歳」では「子どもだけ」の割合が多くなっているが、「30～39歳」では「家族全員」と「子どもだけ」が同程度で、「40～49歳」と「50～59歳」では「家族全員」が最も多くなっている。



<年齢別・転出時の世帯状況>

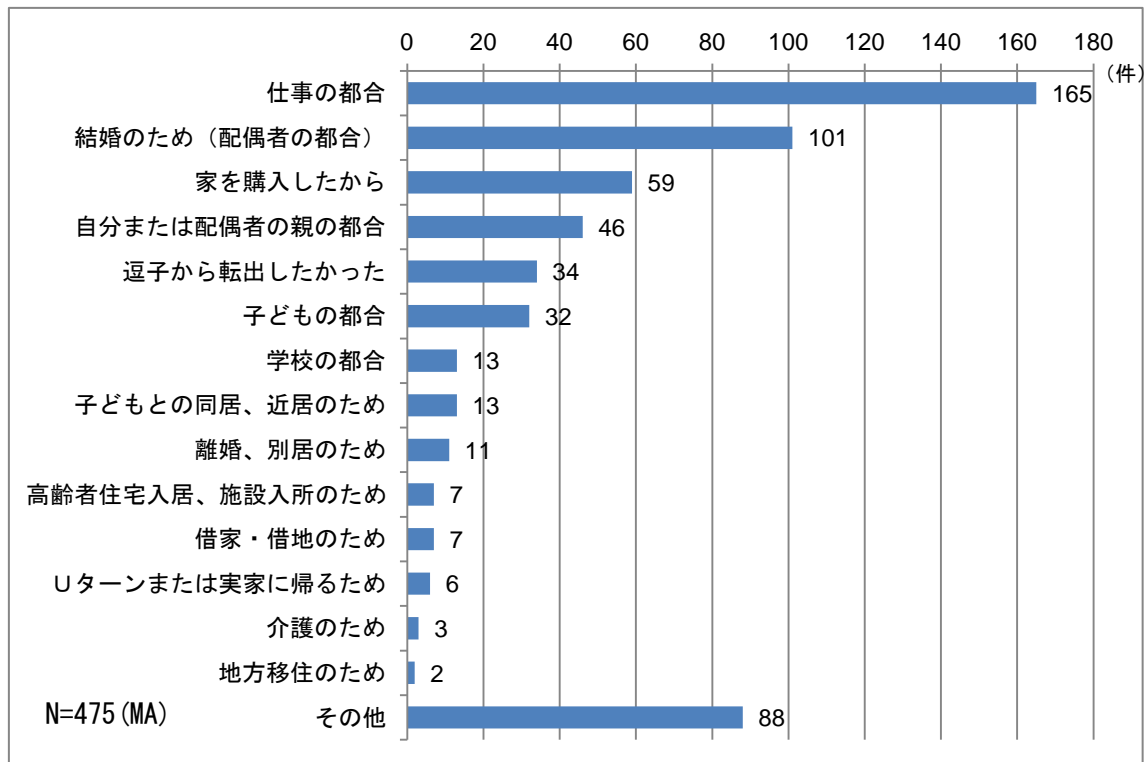


(注) 年齢無回答の5件を除く。

## Ⅱ 調査結果

### (4) 転出のきっかけとなった理由①

- ◆ 転出のきっかけとなった理由を複数回答で質問したところ、「仕事の都合」が165件で最も多く、次に「結婚のため（配偶者の都合）」（101件）、「家を購入したから」（59件）と続いている。
- ◆ 「その他」が137件であったことから、「その他」の理由の中から複数の回答があった49件を集計し、「子どもとの同居、近居のため」以下の項目とした。それでもなお「その他」が88件と多いことは、転出には個別の事情が大きく影響するためと考えられる。



(注) 無回答の2件を除く。

- ◆ 転出のきっかけとなった理由の性別構成をみると、男性では「仕事の都合」が最も多く、「女性」では「結婚のため（配偶者の都合）」が最も多くなっている。
- ◆ 転出のきっかけとなった理由の年齢別構成をみると、「20～29 歳」、「30～39 歳」、「40～49 歳」と働き盛りの若い世代では「仕事の都合」が最も多くなっている。
- ◆ 「30～39 歳」では「結婚のため（配偶者の都合）」も「仕事の都合」に次いで多くなっているが、これは女性の傾向が影響しているものと考えられる。

＜転出のきっかけとなった理由の性別構成＞

(件)

	仕事の都合	学校の都合	子どもの都合	自分または配偶者の親の都合	自分または配偶者（配偶者の都合）結婚のため	家を購入したから	逗子から転出したから	その他
男性	107	6	16	22	35	41	12	55
女性	56	7	16	24	67	18	22	82
合計	165	13	32	46	102	59	34	137

(注) 性別無回答の2件を除く。

＜転出のきっかけとなった理由の年齢別構成＞

(件)

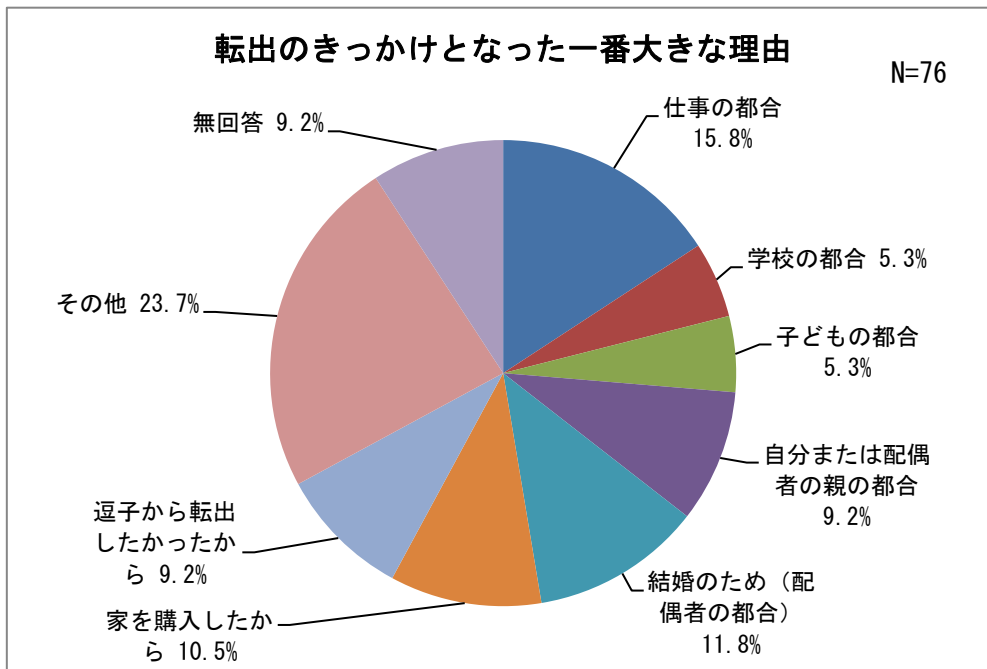
	仕事の都合	学校の都合	子どもの都合	自分または配偶者の親の都合	自分または配偶者（配偶者の都合）結婚のため	家を購入したから	逗子から転出したから	その他
20 歳未満	0	1	0	0	1	0	0	1
20～29 歳	40	4	2	5	22	4	6	5
30～39 歳	54	3	9	12	51	17	11	25
40～49 歳	40	2	6	9	18	17	2	18
50～59 歳	19	3	3	8	6	8	4	14
60～69 歳	10	0	3	7	1	5	5	23
70～79 歳	1	0	3	1	1	4	4	23
80 歳以上	0	0	5	4	1	4	2	28
合計	165	13	32	46	102	59	34	137

(注) 年齢無回答の1件を除く。

## II 調査結果

### (5) 転出のきっかけとなった理由②（一番大きな理由）

- ◆ 転出のきっかけとなった理由を複数回答している76人に対して、その中で一番大きな理由を質問すると、「仕事の都合」が15.8%で最も多く、次に「結婚のため（配偶者の都合）」が11.8%で続いている。
- ◆ その次に多いのは「家を購入したから」で10.5%となっており、定住地として逗子市以外を選択している人が1割以上いることが分かる。
- ◆ 「逗子から転出したかったから」も9.2%と、1割近くになっている。



- ◆ 転出のきっかけとなった一番大きな理由を性別にみると、男性では転出のきっかけとなった理由（複数回答）では「仕事の都合」が最も多かったが、一番大きな理由としては「結婚のため（配偶者の都合）」が15.8%で最も多くなっている。
- ◆ 一方、女性では、転出のきっかけとなった理由（複数回答）では「結婚のため（配偶者の都合）」が最も多かったが、一番大きな理由としては「仕事の都合」が21.1%で最も多く、男性と女性の回答が逆転する結果となった。また、女性については「逗子から転出したかったから」（15.8%）が2番目に多くなっている。
- ◆ 「子どもの都合」を理由としているは、男性だけであった。

＜性別・転出のきっかけとなった一番大きな理由＞

	仕事の都合	学校の都合	子どもの都合	親の都合 自分または配偶者の	結婚のため (配偶者の都合)	家を購入したから	逗子から転出したかったから	その他	無回答	合計
男性	10.5%	7.9%	10.5%	5.3%	15.8%	13.2%	2.6%	23.7%	10.5%	100.0%
女性	21.1%	2.6%	0.0%	13.2%	7.9%	7.9%	15.8%	23.7%	7.9%	100.0%
合計	15.8%	5.3%	5.3%	9.2%	11.8%	10.5%	9.2%	23.7%	9.2%	100.0%

## Ⅱ 調査結果

- ◆ 転出のきっかけとなった一番大きな理由を年齢別にみると、「20～29 歳」で「仕事の都合」や「結婚のため（配偶者の都合）」の割合が、「40～49 歳」で「結婚のため（配偶者の都合）」の割合が、「50～59 歳」で「仕事の都合」の割合が高くなっているが、年齢による特徴的な傾向はあまり見られない。

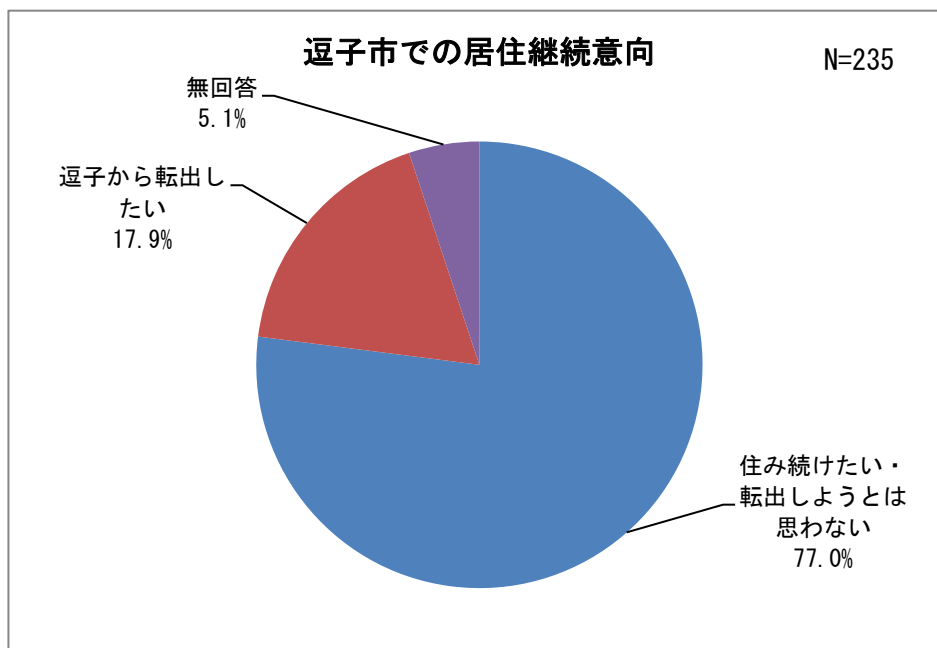
### ＜年齢別・転出のきっかけとなった一番大きな理由＞

	仕事の都合	学校の都合	子どもの都合	親の都合	自分または配偶者の 結婚のため (配偶者の都合)	家を購入したから	返子から転出したか ったから	その他	無回答	総計
20 歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29 歳	28.6%	14.3%	-	14.3%	28.6%	-	-	14.3%	-	100.0%
30～39 歳	12.0%	-	12.0%	12.0%	8.0%	12.0%	12.0%	20.0%	12.0%	100.0%
40～49 歳	11.1%	5.6%	5.6%	11.1%	27.8%	22.2%	-	16.7%	-	100.0%
50～59 歳	25.0%	16.7%	-	-	-	8.3%	16.7%	16.7%	16.7%	100.0%
60～69 歳	33.3%	-	-	-	-	-	33.3%	33.3%	-	100.0%
70～79 歳	-	-	-	-	-	-	-	50.0%	50.0%	100.0%
80 歳以上	-	-	-	16.7%	-	-	-	66.7%	16.7%	100.0%
合計	15.8%	5.3%	5.3%	9.2%	11.8%	10.5%	9.2%	23.7%	9.2%	100.0%

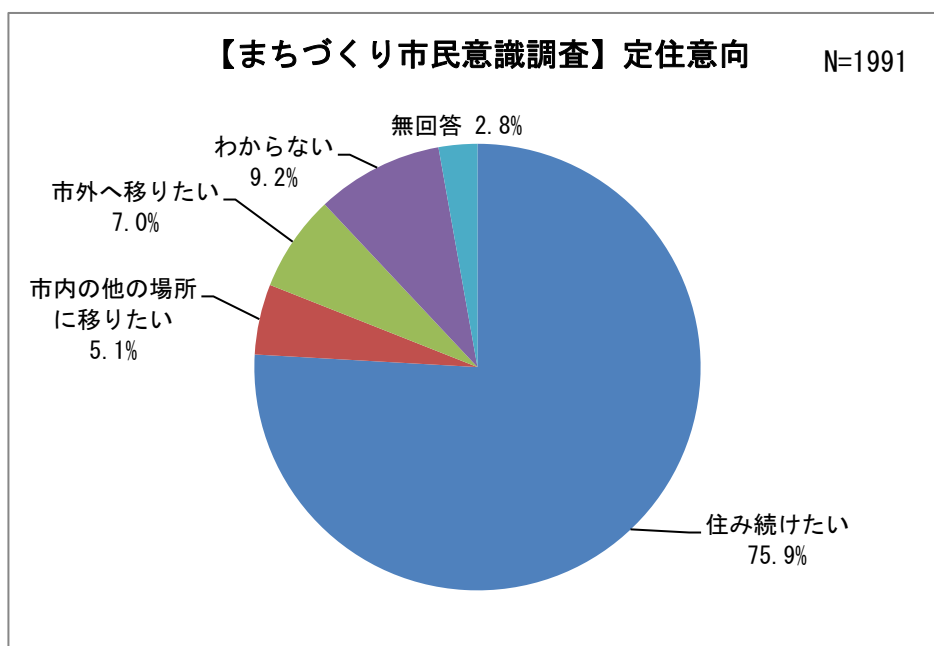
(注) ここでは見やすくするため、0%を「-」で表記している。

(6) 逗子市での居住継続意向①

- ◆ 「仕事の都合」、「学校の都合」、「子どもの都合」「自分または配偶者の親の都合」など、やむを得ない理由により市外に転出している人に、その理由がなかった場合、逗子市に住み続けたいかを質問したところ、77.0%が「住み続けたい・転出しようとは思わない」としている。
- ◆ 「まちづくり市民意識調査」の定住意向と比較すると、市内に「住み続けたい」とする人の割合は【まちづくり市民意識調査】と同様の傾向となっているが、「逗子から転出したい」とする人の割合は、【回答者】の方が10ポイント以上高くなっている。



＜居住継続意向／「まちづくり市民意識調査」＞



## Ⅱ 調査結果

- ◆ 逗子市での居住継続意向を性別にみると、男性の8割以上が「住み続けたい・転出しようとは思わない」としている。
- ◆ 「逗子から転出したい」としている人の割合は、男性よりも女性の方が10ポイント以上高くなっている。
- ◆ 逗子市での居住継続意向を年齢別にみると、年齢による特徴的な傾向は見出しにくいですが、「40～49歳」で「逗子から転出したい」とする人の割合が他の年齢層に比べて低くなっている。

### <性別・逗子市での居住継続意向>

	住み続けたい・転出しようとは思わない	逗子から転出したい	無回答	合計
男性	82.1%	12.1%	5.7%	100.0%
女性	69.9%	26.9%	3.2%	100.0%
合計	77.0%	17.9%	5.1%	100.0%

(注) 性別無回答の2件を除く。

### <年齢別・逗子市での居住継続意向>

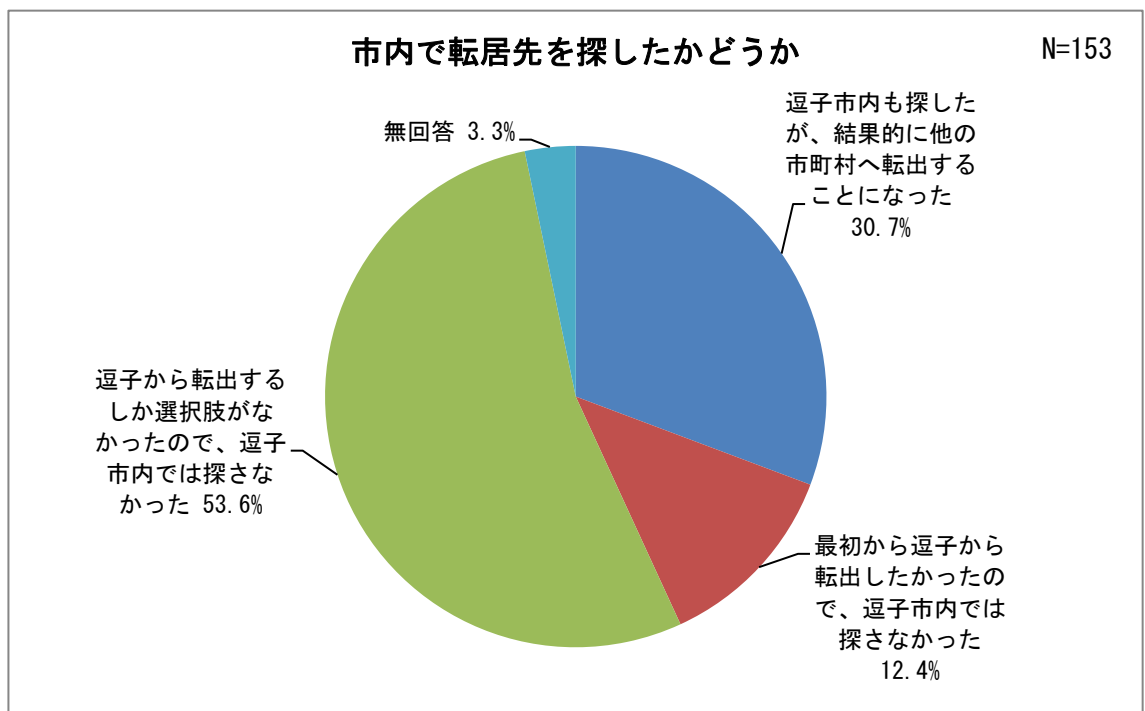
	住み続けたい・転出しようとは思わない	逗子から転出したい	無回答	合計
20歳未満	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20～29歳	75.0%	22.9%	2.1%	100.0%
30～39歳	75.0%	22.1%	2.9%	100.0%
40～49歳	85.5%	7.3%	7.3%	100.0%
50～59歳	64.3%	32.1%	3.6%	100.0%
60～69歳	80.0%	10.0%	10.0%	100.0%
70～79歳	60.0%	20.0%	20.0%	100.0%
80歳以上	87.5%	0.0%	12.5%	100.0%
合計	77.0%	17.9%	5.1%	100.0%

(注) 年齢無回答の2件を除く。



(7) 逗子市での居住継続意向②（市内で転居先を探したかどうか）

- ◆ 「結婚のため（配偶者の都合）」「家を購入したから」と回答した人が、逗子市内で転居先を探したかについて質問したところ、結婚で遠方に住むことになったなどの理由で逗子市から転出するしか選択肢がなかったため、逗子市内では転居先を探さなかった人が 53.6%と半数以上を占めている。
- ◆ 「逗子市内も探したが、結果的に他の市町村へ転出することになった」人が 30.7%となっており、結婚や住宅の購入にあたって、条件さえ合えば、逗子市内での居住を継続できる可能性のある人が3割程度いることが分かる。
- ◆ 一方、「最初から逗子から転出したかったので、逗子市内では探さなかった」人は 12.4%となっている。



## Ⅱ 調査結果

- ◆ 結婚や住宅の購入にあたって、市内で転居先を探したかどうかを性別にみると、男性では「逗子市内も探したが、結果的に他の市町村へ転出することになった」人が多く、一方、女性では「逗子から転出するしか選択肢がなかった」人が多くなっている。
- ◆ これを年齢にみると、年齢による特徴的な傾向は見出しにくいですが、年齢が低いほど「逗子から転出するしか選択肢がなかった」ので、逗子市内では探さなかった」とする人の割合が高くなっている。

### <性別・市内で転居先を探したかどうか>

	逗子市内も探したが、結果的に他の市町村へ転出することになった	最初から逗子から転出したかったので、逗子市内では探さなかった	逗子から転出するしか選択肢がなかった、逗子市内では探さなかった	無回答	総計
男性	50.7%	5.5%	41.1%	2.7%	100.0%
女性	12.5%	18.8%	65.0%	3.8%	100.0%
合計	30.7%	12.4%	53.6%	3.3%	100.0%

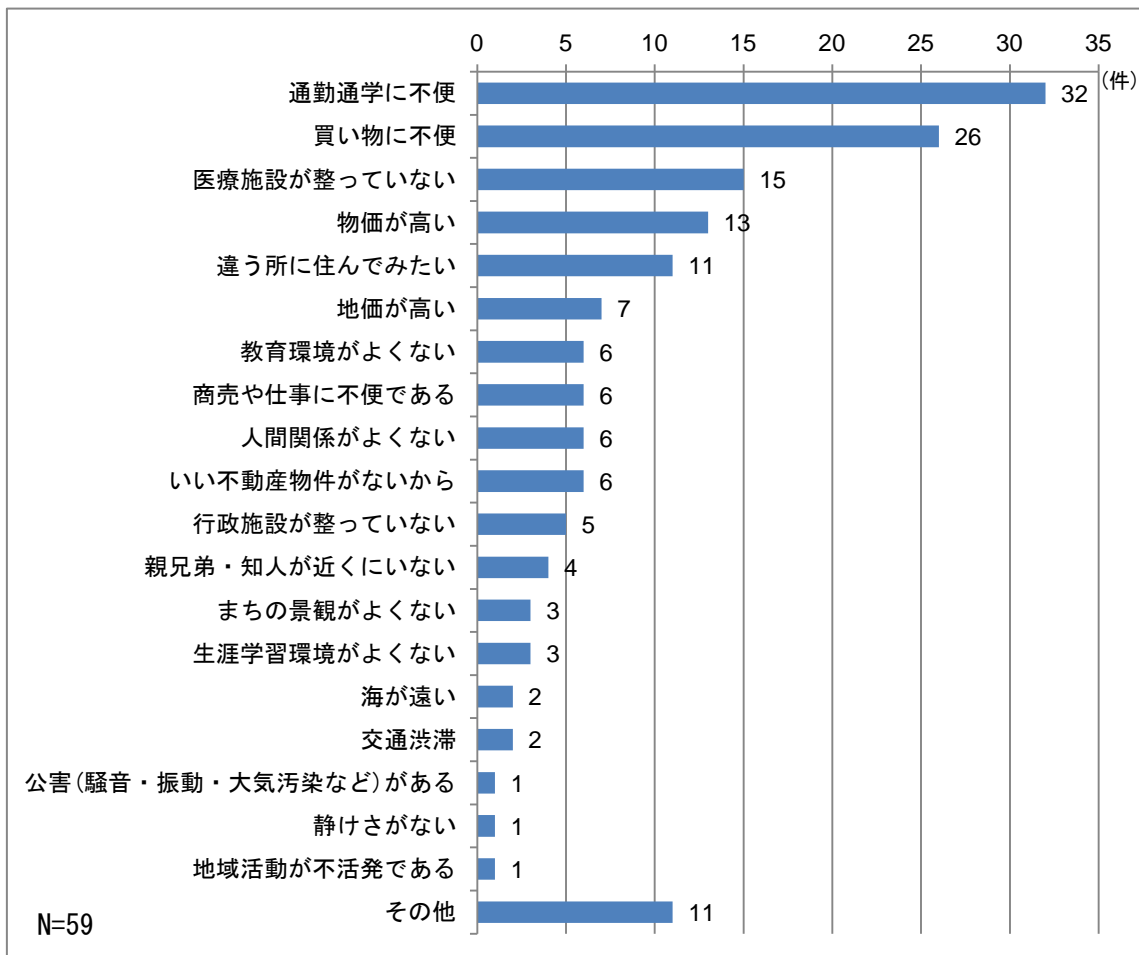
### <年齢別・市内で転居先を探したかどうか>

	逗子市内も探したが、結果的に他の市町村へ転出することになった	最初から逗子から転出したかったので、逗子市内では探さなかった	逗子から転出するしか選択肢がなかった、逗子市内では探さなかった	無回答	合計
20歳未満	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
20～29歳	34.6%	3.8%	61.5%	0.0%	100.0%
30～39歳	27.3%	12.1%	57.6%	3.0%	100.0%
40～49歳	23.3%	13.3%	56.7%	6.7%	100.0%
50～59歳	38.5%	23.1%	38.5%	0.0%	100.0%
60～69歳	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	100.0%
70～79歳	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
80歳以上	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	100.0%
合計	30.7%	12.4%	53.6%	3.3%	100.0%

(注) 年齢無回答の1件を除く。

(8) 逗子市から転出したい理由

- ◆ 「逗子から転出したい」と回答した人に対し、その理由を複数回答で質問したところ「通勤通学に不便」が最も多く、次に「買い物に不便」、「医療施設が整っていない」、「物価が高い」と続いている。
- ◆ これを「まちづくり市民意識調査」と比較すると、上位3項目はほぼ一致している。



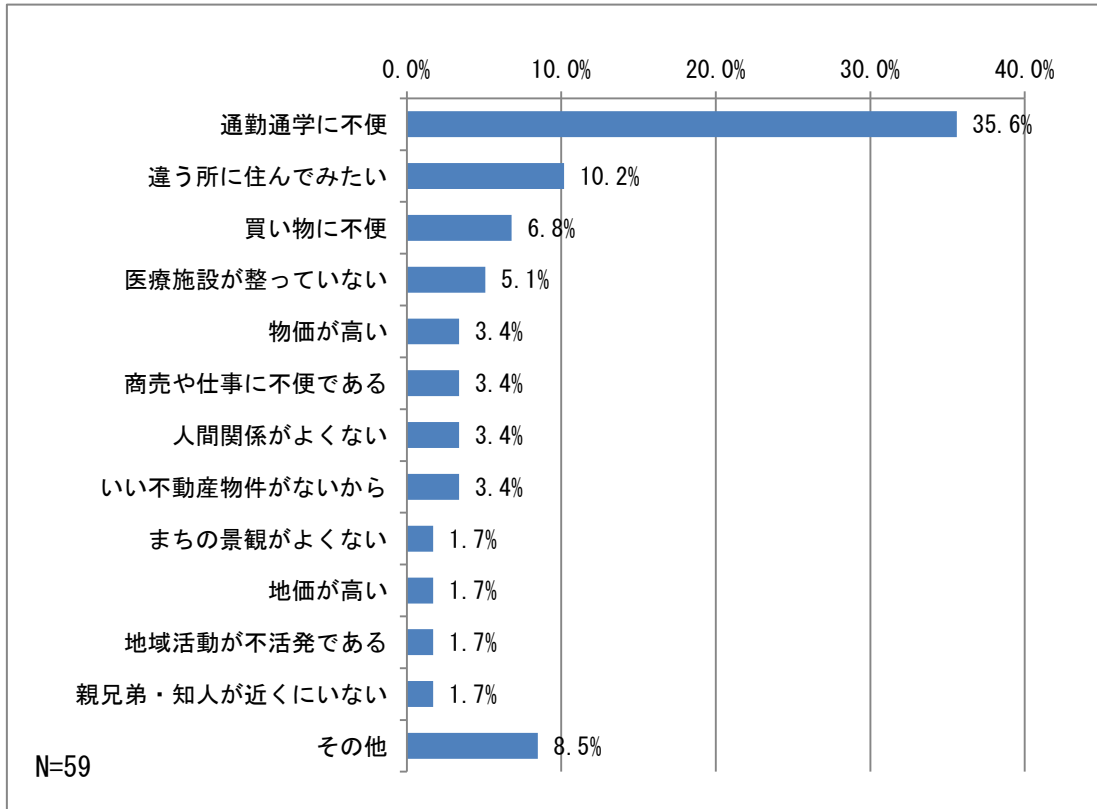
(注) 無回答の4件を除く。

<転出したい理由／「まちづくり市民意識調査」との比較>

	【回答者】	【まちづくり市民意識調査】
1位	通勤通学に不便	買い物に不便
2位	買い物に不便	通勤通学に不便
3位	医療施設が整っていない	医療施設が整っていない

## Ⅱ 調査結果

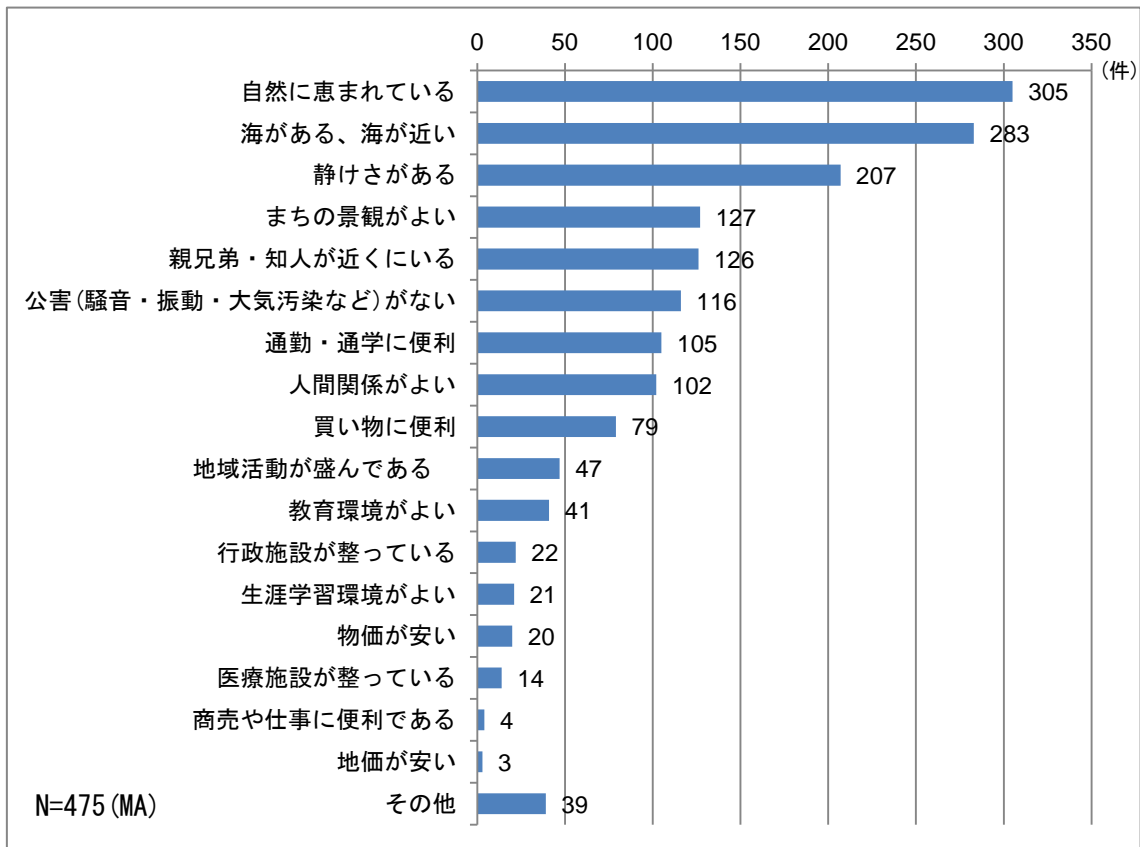
- ◆ 「逗子から転出したい」と回答した人に対して、その理由として一番大きな事柄を質問したところ、上位5項目は複数回答した時の結果と同一であるが、「通勤通学に不便」の割合が他の項目に比べて圧倒的に高くなっている。
- ◆ また、複数回答した時とは異なり、2番目に「違う所に住んでみたい」の割合が高くなっている。



(注) 無回答の8件を除く。

(9) 転出後に「逗子はよかった」と感じた事柄

- ◆ 逗子市から転出した後に「逗子はよかった」と感じた事柄を複数回答で質問したところ、「自然に恵まれている」が最も多く、次に「海がある、海が近い」、「静けさがある」、「まちの景観がよい」となっており、自然豊かな居住環境が高く評価されていることが分かる。

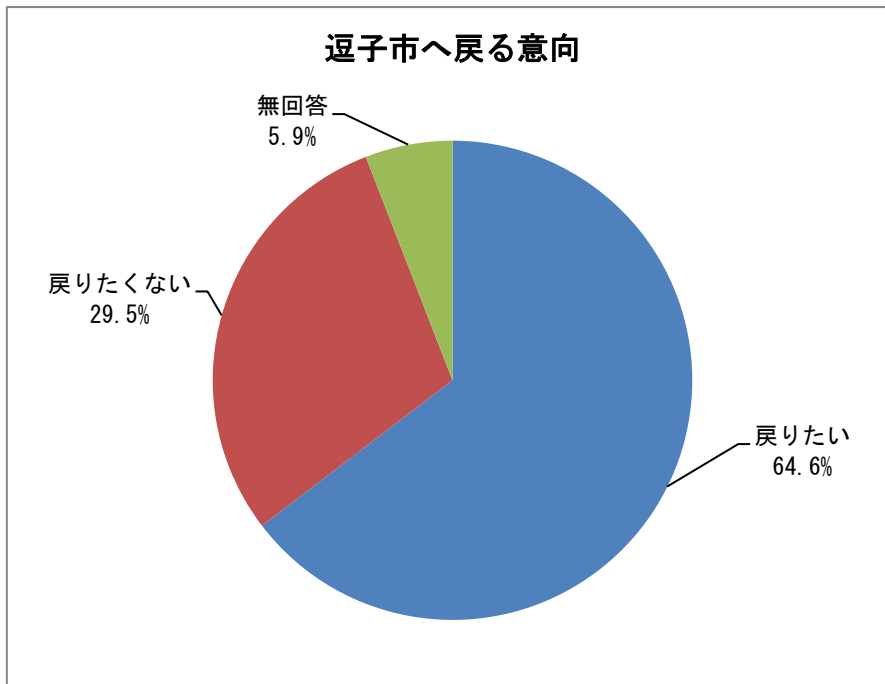


(注) 無回答の18件を除く。

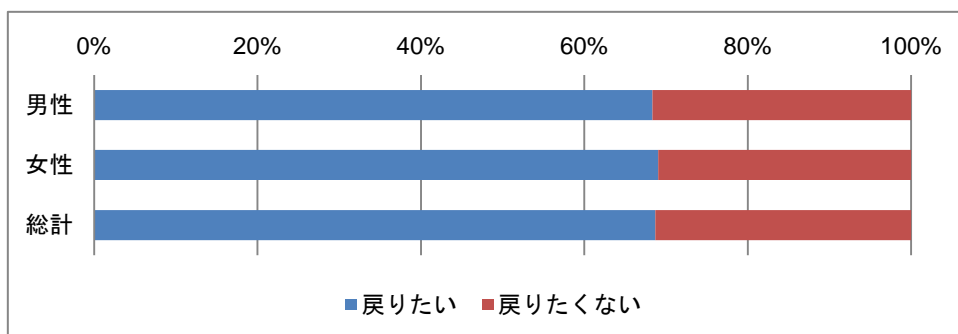
## Ⅱ 調査結果

### (10) 逗子市に戻る意向

- ◆ 事情が許すのであれば逗子市に戻りたいかどうかについては、「戻りたい」が64.6%となっており、全体の6割以上の方が逗子市に戻りたいという意向をもっている。
- ◆ これを性別にみても、全体と同じ傾向となっており、性別による差はみられない。



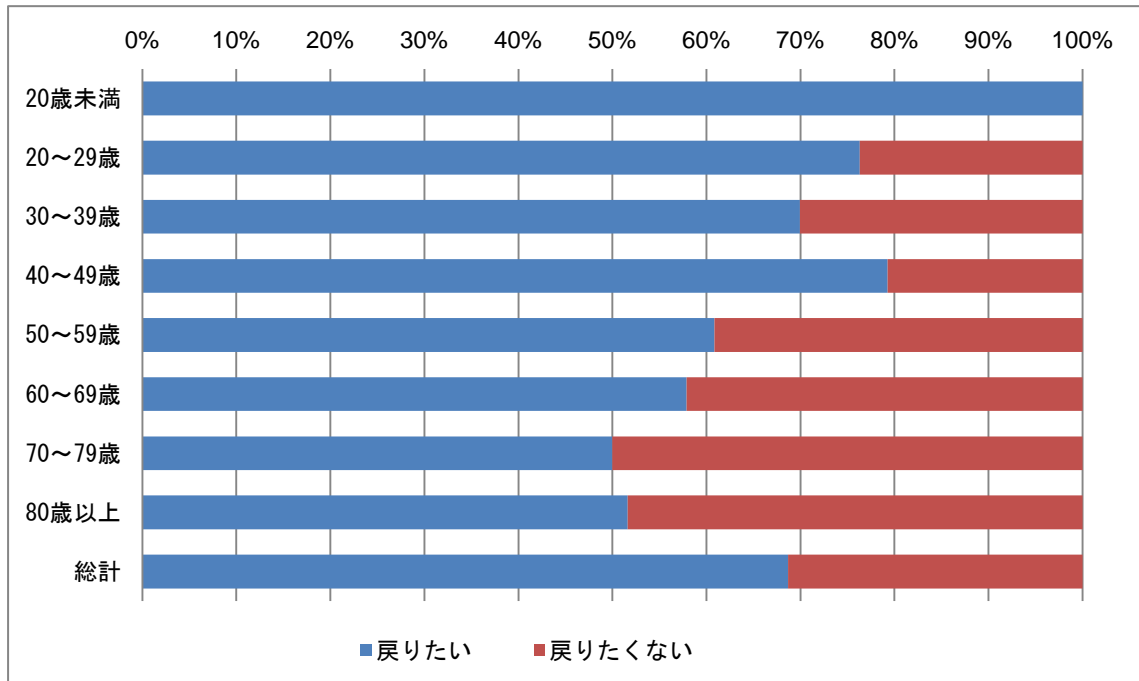
### <性別・逗子市へ戻る意向>



(注) 年齢無回答の4件を除く。

- ◆ 逗子市に戻る意向を年齢別にみると、年齢が若い人ほど、逗子市に戻りたいという意向がある傾向がみられる。

＜年齢別・逗子市へ戻る意向＞

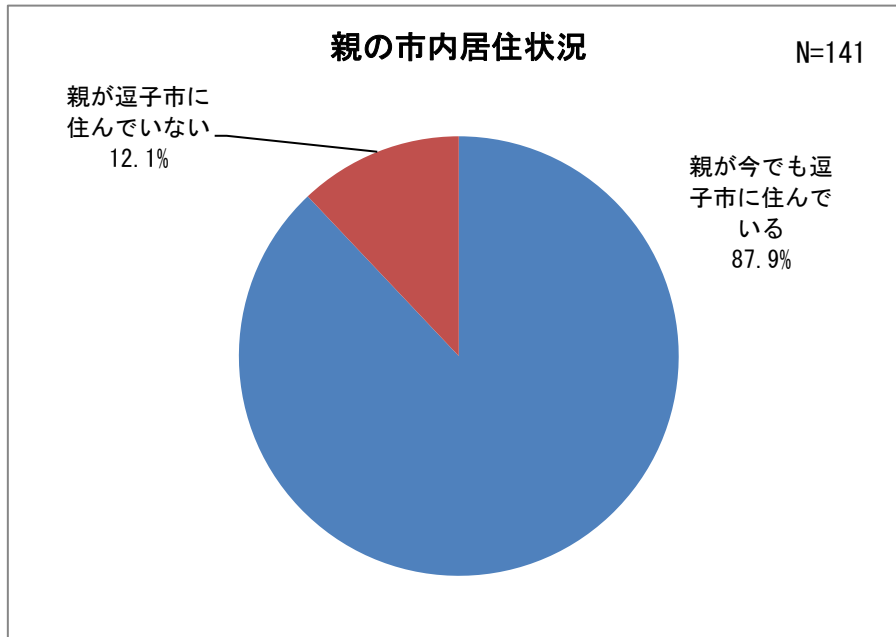


(注) 年齢無回答の5件を除く。

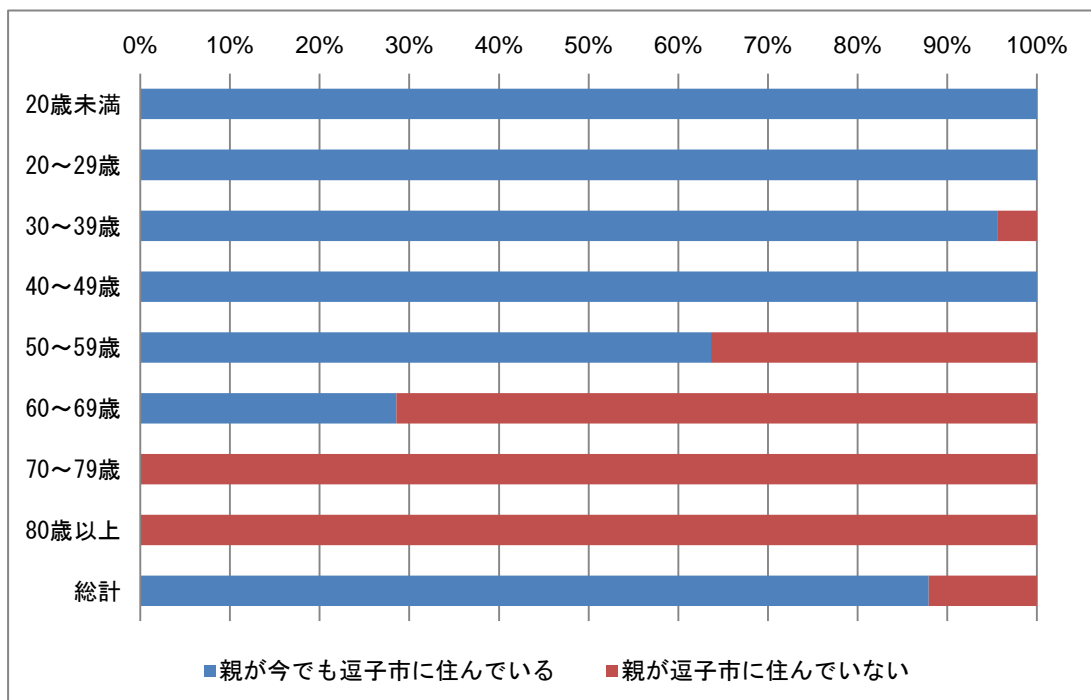
## Ⅱ 調査結果

### (11) 親の市内居住状況

- ◆ 逗子市立の小学校または中学校を卒業している人、いわゆる“逗子市育ち”の人に対して、自分が転出した後も親が市内に居住しているかを質問したところ、「親が今でも逗子市に住んでいる」が87.9%となっている。
- ◆ 年齢別にみると、60歳未満で親が今でも逗子市に住んでいるケースが大半を占めている。



### <年齢別・親の居住状況>

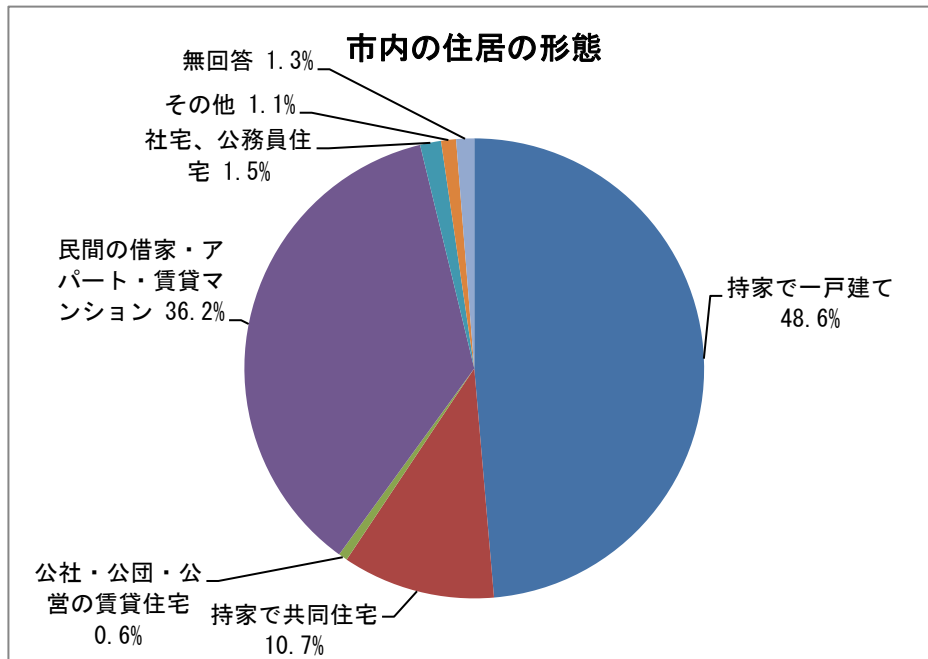


(注) 年齢無回答の3件を除く。

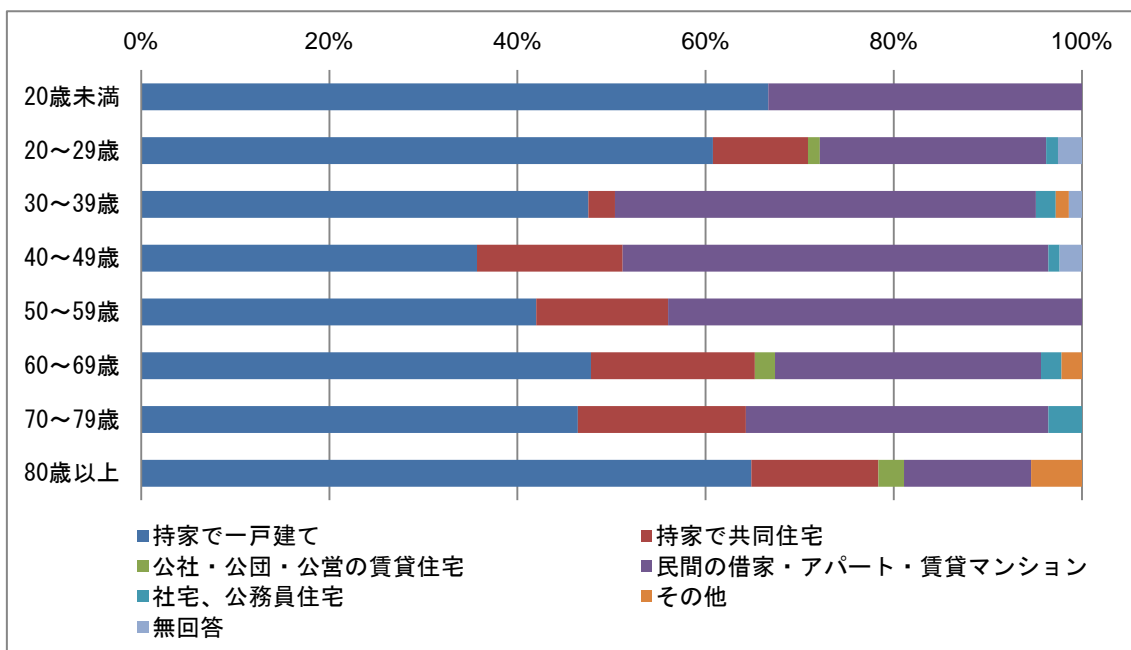


(12) 市内の住居の状況

- ◆ 転出する前の市内の住居の状況を見ると、「持家で一戸建て」が48.6%で最も多く、次に「民間の借家・アパート・賃貸マンション」が36.2%と多くなっている。
- ◆ 年齢別にみると、30歳から59歳までの年齢階級で「持家で一戸建て」と「持家で共同住宅」を合わせた割合が、他の年齢階級に比べて低くなっている。



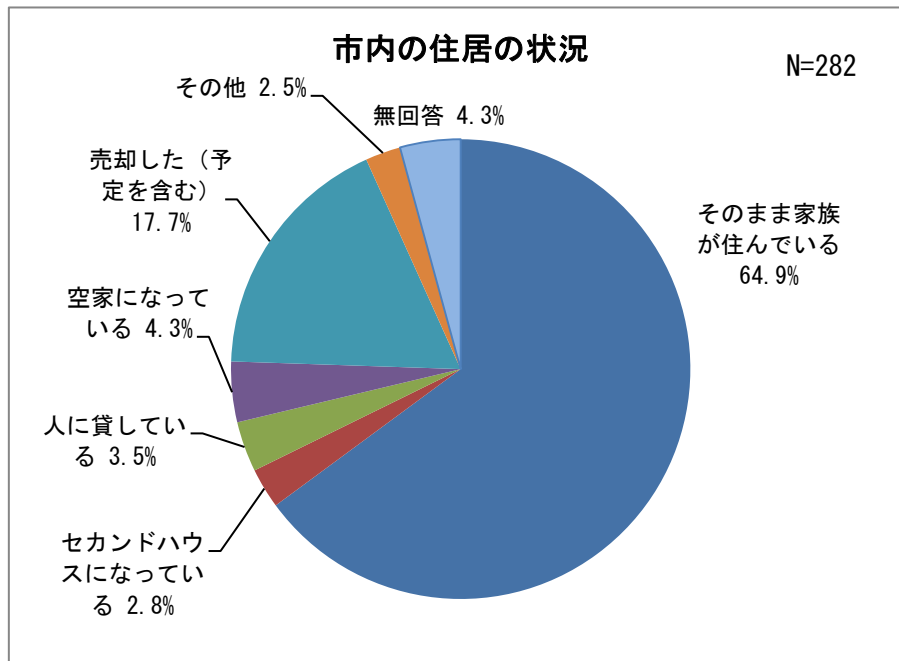
<年齢別・市内の住居の形態>



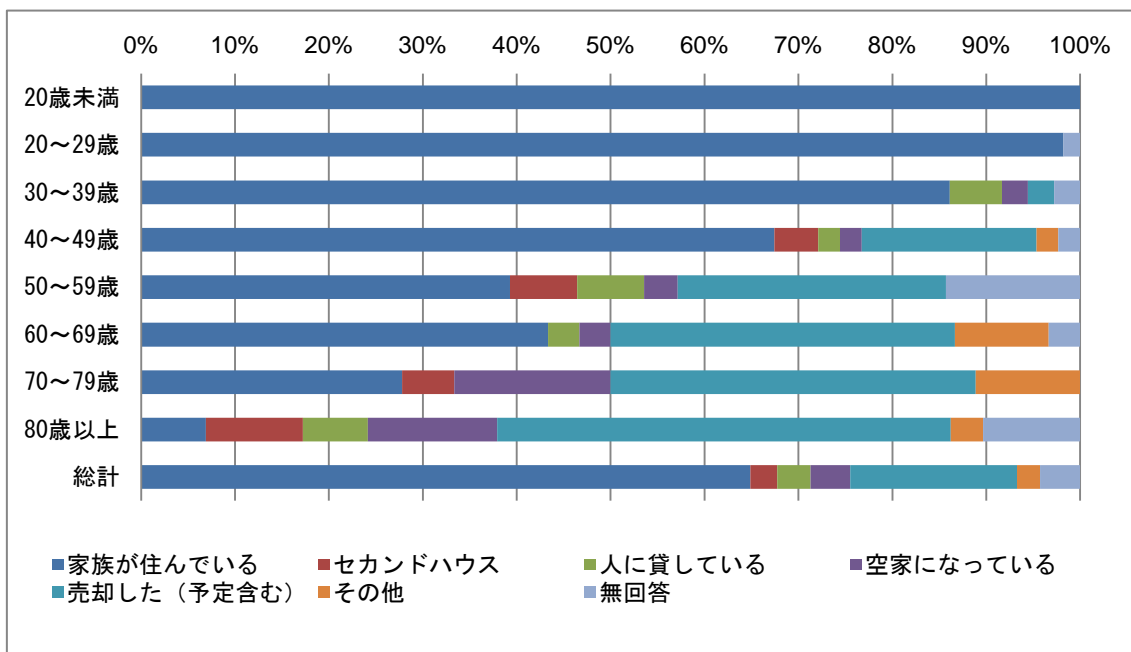
(注) 年齢無回答の5件を除く。

## II 調査結果

- ◆ 返子市での住まいが「持家で一戸建て」と「持家で共同住宅」だった人に、市内の住居の状況を質問したところ、「そのまま家族が住んでいる」が64.9%と、全体の6割以上を占めている。
- ◆ 年齢別にみると、50歳未満の世代で「そのまま家族が住んでいる」ケースが大半を占めているが、年齢が高くなるほど「売却した（予定含む）」が増えている。



＜年齢別・市内の住居の状況＞



(注) 年齢無回答の4件を除く。

### Ⅲ まとめと考察

#### 1. 転出の特徴

- ◆ 居住年数が10年以内の比較的短い層が約半数を占めている。
- ◆ 独身、結婚していても子どもがいない40歳未満の層や一番上の子どもが入学前など、転居にあたって考慮しなければならない家族の事情（子どもの転校など）が比較的少ない層が多くなっている。
- ◆ 世帯主だけ、子どもだけの転出が55.3%占めている。これは、一定の期間経過後に再転入する可能性の高い者が半数程度いるものと考えられる。
- ◆ 転出先は、横浜市や横須賀市、鎌倉市、葉山町など、逗子市に近接した市町が中心となっている。
- ◆ 転出したきっかけは仕事の都合が中心となっており、都内勤務者に転出傾向が確認できる。
- ◆ やむを得ない理由のために転出している転出者の8割近くは、逗子市に住み続けたい意向をもっている。
- ◆ 家の購入は、比較的長期にわたる“定住”を意味することが多いが、転出者のうち1割程度は家の購入をきっかけに転出していることから、これらの人たちが逗子市内で家を購入してもらうことができれば、定住者増加につながるものと考えられる。

#### 2. 逗子市の課題

- ◆ 逗子市から転出したいと考えていた転出者は、通勤通学に不便であることを一番の理由としている。
- ◆ 転出者は、買い物に不便、医療施設が整っていないなど、生活上の不便さも訴えている。
- ◆ 逗子市から転出したいと考えていた転出者は、男性よりも女性の方が多く、女性にとって魅力のあるまちづくりが必要と考えられる。

#### 3. 逗子市のアドバンテージ

- ◆ 転出後に「逗子はよかった」と感じる点としては、自然に恵まれていることや海があること、静けさがあることなど、自然豊かな居住環境が高く評価されている。
- ◆ 事情が許せば、また逗子市に戻りたいと考える人も6割以上いて、若い世代ほどその傾向が強い。
- ◆ 逗子市立小・中学校を卒業している、いわゆる“逗子市育ち”の人の8割以上が、親が今でも逗子市に住んでいる。
- ◆ 逗子市での住まいが持家だった人もそのまま家族が住み続けているケースが多いことから、事情が許せば、将来的に親元への同居、近居などと

### Ⅲ まとめと考察

いった形で、逗子市へ戻ってくる可能性が考えられる。

## IV 参考資料

## 1. アンケート調査票

## 逗子市から転出された方へ（アンケート調査にご協力をお願い）

逗子市では、以前に逗子市にお住まいだった皆さまのご意見等を、今後の市政運営に役立てていきたいと考え、アンケート調査を実施することといたしました。

アンケート調査を実施するにあたっては、平成26年7月1日から平成27年6月30日の間、逗子市から転出された18歳以上の皆さまから、抽出してお願いしております。同じご住所にお住まいの方に複数お送りしている場合もありますが、ご了承ください。

お答えいただいた内容は、逗子市への居住促進のための施策づくりの基礎資料として活用するものであって、他の目的には一切使用いたしません。また、無記名方式のため、個人が特定されることはなく、全て統計的に処理いたします。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力よろしくお願い申し上げます。

平成27年8月 逗子市長 平井 竜一

- 質問には、ご本人（封筒のあて名の方）がお答えください。
- 同じご住所にお住まいの方に複数お送りしている場合でも、お一人ずつお答えください。
- ご記入いただいた調査票は、8月24日（月）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、逗子市役所あてにご返送ください。

問い合わせ先 逗子市 経営企画部 企画課  
 電話 046 (873) 1111 (内線 321,322)  
 FAX 046 (873) 4520  
 E-mail kikaku@city.zushikanagawa.jp

Q1 あなたが転出したのはいつですか。それぞれ数字でご記入ください。

平成  年  月

Q2 あなたは、逗子市にいつ頃からお住まいでしたか。（○は1つだけ）

1 戦前から住んでいた	2 昭和20年(戦後)～34年	3 昭和35年～44年
4 昭和45年～49年	5 昭和50年～54年	6 昭和55年～59年
7 昭和60年～平成元年	8 平成2年～6年	9 平成7年～11年
10 平成12年～16年	11 平成17年～21年	12 平成22年以降

Q3 転出された方は、どなたですか。（○は1つだけ）

1 家族全員	2 子どもだけ	3 子どもとその親
4 両親だけ	5 世帯主だけ	6 その他（                    ）

IV 参考資料

Q4 あなたが転出された理由を、次の中から選んでください。(〇は複数可)

- |                 |                 |            |
|-----------------|-----------------|------------|
| 1 仕事の都合         | 2 学校の都合         | 3 子どもの都合   |
| 4 自分または配偶者の親の都合 | 5 結婚のため(配偶者の都合) | 6 家を購入したから |
| 7 逗子から転出したかったから | 8 その他( )        |            |

Q4-1 Q4で理由を複数選んだ場合、一番大きな理由の番号を下欄に記入してください。

一番大きな理由 (番号は1つだけ)	
----------------------	--

Q5 (Q4で1~4を選んだ方におたずねします。) その理由がなければ、「逗子に住み続けたい」と思いましたか。(〇は1つだけ)

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1 住み続けたい・転出しようとは思わない | 2 逗子から転出したい |
|----------------------|-------------|

Q6 (Q4で5、6を選んだ方におたずねします) 転居するにあたって、逗子市内でもお住まいを探されましたか。(〇は1つだけ)

- |  |
|--|
| 1 逗子市内も探したが、結果的に他の市町村へ転出することになった   |
| 2 最初から逗子から転出したかったので、逗子市内では探さなかった   |
| 3 逗子から転出するしか選択肢がなかった(結婚で遠方に住むことになった、同居を始める家族の住宅が市外にあったなど)ので、逗子市内では探さなかった |

Q7 (Q5で2を選んだ方、Q6で2を選んだ方におたずねします。) 逗子から転出したいと思われた事柄を次の中から選んでください。(〇は複数可)

- |                        |                  |               |
|------------------------|------------------|---------------|
| 1 通勤通学に不便              | 2 買い物に不便         | 3 医療施設が整っていない |
| 4 行政施設が整っていない          | 5 自然に恵まれていない     | 6 海が遠い        |
| 7 まちの景観がよくない           | 8 物価が高い          | 9 地価が高い       |
| 10 公害(騒音・振動・大気汚染など)がある | 11 静けさがない        |               |
| 12 教育環境がよくない           | 13 生涯学習環境がよくない   |               |
| 14 地域活動が不活発である         | 15 商売や仕事に不便である   |               |
| 16 人間関係がよくない           | 17 親兄弟・知人が近くにいない |               |
| 18 違う所に住んでみたい          | 19 いい不動産物件がないから  |               |
| 20 その他( )              |                  |               |

Q7-1 Q7で選んだ事柄のうち、一番大きな事柄の番号の数字を記入してください。

一番大きな事柄 (番号は1つだけ)	
----------------------	--

Q8 逗子から転出した後に、「逗子はよかった」と感じた事柄を、次の中から選んでください。(○は複数可)

- |                        |                 |              |
|------------------------|-----------------|--------------|
| 1 通勤・通学に便利             | 2 買い物に便利        | 3 医療施設が整っている |
| 4 行政施設が整っている           | 5 自然に恵まれている     | 6 海がある、海に近い  |
| 7 まちの景観がよい             | 8 物価が安い         | 9 地価が安い      |
| 10 公害(騒音・振動・大気汚染など)がない | 11 静けさがある       |              |
| 12 教育環境がよい             | 13 生涯学習環境がよい    |              |
| 14 地域活動が盛んである          | 15 商売や仕事に便利である  |              |
| 16 人間関係がよい             | 17 親兄弟・知人が近くにいる |              |
| 18 その他 (               |                 | )            |

Q9 逗子市から転出した直後のお住まいはどちらですか。ご記入ください。政令指定都市の場合は[ ]内もご記入ください。

都道府県  市区町村 (  区 )

Q10 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 戻りたい 2 戻りたくない

◆最後にあなたについておたずねします。

F1 あなたの性別は (○は1つだけ)

- 1 男性 2 女性

F2 あなたの年齢は (○は1つだけ)

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満  | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 | 7 70～79歳 | 8 80歳以上  |

F3 次のライフステージのうち、現在のあなたご自身はどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 独身(未婚)                |
| 2 既婚で子どもがいない(本人18歳～39歳) |
| 3 既婚で子どもがいない(本人40歳～64歳) |
| 4 既婚で子どもがいない(本人65歳以上)   |
| 5 一番上の子どもが入学前           |
| 6 一番上の子どもが小・中学生         |
| 7 一番上の子どもが高校生・大学生       |
| 8 本人64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業 |
| 9 本人65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業 |

IV 参考資料

F4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 自営業(農林漁業、商工サービス業、自由業、家族従業員も含む) |
| 2 会社員等(公務員、会社役員、専門職も含む)          |
| 3 学生・専門学校生                       |
| 4 パート・アルバイト                      |
| 5 無職(家事従事者も含む)                   |
| 6 その他( )                         |

F5 (F4で1、2を選んだ方におたずねします) 逗子市にお住まいの時の勤め先はどちらですか。2つ以上ある場合は、主な方を1つだけ選んでください。

- |             |           |          |           |
|-------------|-----------|----------|-----------|
| 1 逗子市内      | 2 鎌倉・藤沢市内 | 3 横須賀市内  | 4 横浜・川崎市内 |
| 5 その他の神奈川県内 | 6 東京都内    | 7 その他( ) |           |

F6 あなたは逗子市立の小学校または中学校を卒業していますか。(○は1つだけ)

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F7 (F6で1を選んだ方におたずねします) あなたの親は、今でも逗子市にお住まいですか。(○は1つだけ)

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F8 あなたが逗子でお住まいだった地域はどちらですか。(○は1つだけ)

- |      |      |      |      |       |      |
|------|------|------|------|-------|------|
| 1 逗子 | 2 桜山 | 3 沼間 | 4 池子 | 5 山の根 | 6 久木 |
| 7 小坪 | 8 新宿 |      |      |       |      |

F9 あなたの逗子でのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1 持家で一戸建て       | 2 持家で共同住宅            |
| 3 公社・公団・公営の賃貸住宅 | 4 民間の借家・アパート・賃貸マンション |
| 5 社宅、公務員住宅      |                      |
| 6 その他( )        |                      |

F10 (F9で1、2を選んだ方におたずねします) 転出にあたり、お住まいはどのようにしましたが。(○は1つだけ)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 そのまま家族が住んでいる | 2 そのままセカンドハウスになっている |
| 3 そのまま人に貸している  | 4 そのまま空家になっている      |
| 5 売却した         |                     |
| 6 その他( )       |                     |

ご協力ありがとうございました



## 2. 自由記述欄（「その他」）の回答

## (1) 転出した理由（順不同）

転出した理由	件数
税金が高いから	2
夫の死亡により転出せざるを得なかった	
都心に遠い	
海岸沿いに住んでいたため、津波等の心配	
生活保護のため	
自宅売却で株式投資失敗の穴埋め	
癌になり、自立不可能	
子どもの結婚を機に定年後の第2の人生を送るため	
自立のため	2
生活経済のため	
病気のため	3
同棲するため	
リフォーム資金なく、市内に転居先なし	
健康上の理由	2
逗子の自宅建て替え中の仮住まい	2
家を売却したため	2
子どもに優しいまちではないため	
山の上で仕事を辞めたので	
同居の結婚（兄）	
市はひどすぎる。補助金の問題	
保育園が自宅近くになかったから	
年齢のため職場近くに転居	
現在の家が空き家なため	
甥の移転。母の介護施設移転	
病気のため妹のもとへ	
困窮のため	
犯罪に巻き込まれたため	
体が弱り、娘に世話になるため	
隣室米軍人の異常冷房による家屋損傷被害甚大	
一人暮らしが困難	
相続	
交通が不便	
特に私的理由	

(注) 件数は、同じ記述が複数ある場合のみ表示している。

#### IV 参考資料

転出した理由(続き)	件数
立ち退きのため	
出産のため	
自分の都合	
池子米軍住宅から転居しなければならなかったため	
配偶者の転勤	
港区に住民票を移すことが必要	
相続税対策	
免許取得したため	

(注) 件数は、同じ記述が複数ある場合のみ表示している。

#### (2) 逗子から転出したいと思う事柄(順不同)

転出したいと思う事柄
居酒屋ばかりで見るところがない。老人向けすぎる
元々、転出先に家があった
低所得者は生活が困難。むら社会で閉鎖的なため、良い方向へ変革することは厳しい。市長、市会議員、市職員、市民それぞれの意識改革を望みます。
親元から離れ独立するため
家が駅から遠い(バスが少なく時間も遅れやすい)
街が寂しい。特に冬場
税金が高い
3.11以降老人の町でありながら、対策が為されていない。津波がどれだけ逗子に大きな問題となるか考えられていない。いつ起きるかわからない災害だが、3.11を機に考え推し進めるべき問題。湘南の他の市では1歩1歩でも考え対策しているところがある。
防災情報など公共情報の外国語支援・対応の不備、飲食店の外国語のメニュー表記が少ない

#### (3) 「逗子はよかった」と感じた事柄(順不同)

「逗子はよかった」と感じた事柄	件数
特になし	2
百年にもなろうとする「先人方のご努力の賜物」と信ずる	
良かった事は何もありません	
①東京の主要駅に乗り換えなしで行ける。朝は連結車両に座っていけるのは最高! ⑧鎌倉ほど賑やかでなく、葉山ほど田舎でない。とても住みやすい	
夏涼しく、冬暖かい	

(注) 件数は、同じ記述が複数ある場合のみ表示している。

「逗子はよかった」と感じた事柄（続き）	件数
美味いめし屋がある。	
おしゃれな店が多い	
母が住んでいる	
鎌倉、葉山に近い。山歩き。朝思いついた時すぐに出かけられる	
ごみ処理代が安い	
永く住んでいるので落ち着ける	
生まれ育った所だから	
ガラが悪くなく安心して住める。ただ、家賃は高め	
食事がおいしい	
海だけでなく山もあり、三浦半島、鎌倉、箱根なども近く最高です	
他の湘南エリアに比べて人が少なくて住みやすい。図書館が充実	
銀行が駅前にある。商店街がある	
役所の窓口対応の良さ	
高層建築物がない事で自然の風の流れがあり夏は涼しい。お年寄りがのんびり楽しそうに歩いていてほっとします。市役所がきれい。手続き等を親切に教えていただき助かりました。	
市に品がある	
図書館の本が充実している。ガイドブックが新しい	
図書館がとても使いやすい。図書館が良かった	2
友人が多い	
粗大ゴミの料金が安い	
街が発展、持続し続けている。身なり、振る舞いのしっかりした人が多い	
面白い人がたくさん住んでいる	
環境が良い(安全)	
環境を壊すような店がない。役所、警察も親切	
風が通って涼しい	
雰囲気、愛着がある	
45年住んでいるが、1年1年住みにくくなった気がする	
逗子は不燃ごみも燃えるごみと同じ場所での収集だが、岐阜では指定場所まで個人で運ぶため車がないと不便。	
文化度が高い	
すべてが整っている	

(注) 件数は、同じ記述が複数ある場合のみ表示している。